

(財)女性のためのアジア平和国民基金

第64回理事会

平成14年8月

部 ニュースの速報 03(3471)7242 / EX-16-tokuha@chunichi.co.jp

「戦時性的被害者」問題

野党の女性議員と台湾の立法院委員が十九日、国会で記者会見し、元日本軍慰安婦に補償を行うことなどを盛り込んだ「戦時性的強制被害者問題の解決の促進に関する法案」の早期成立を訴えた。

『国内生存者』

40人足らず

同法案は、民主、共産、社民の三党が先の臨時国会で共同提案し、継続審議になっていた。村山富市元首相が一九九五年に創設した「女性のためのアジア平和国民基金」の「償い金」支給事業が、被害者の怒りを買ったとの反省からまとめられたもので、来週から本格審議に入る。

この日、記者会見した台湾の立法院委員、楊麗環さんは「二億七千万のうちに、数十万人といわれる元日本軍慰安婦の多くは亡くなり、今では千人未満になってしまった。みんな心も痛めている。わが国でも生きているのは四十人足らず。一刻も早く、日本は正式に謝罪し、生きている間に彼

基金事業とん挫…
「国家による謝罪を」

女たちの名誉回復をしてもうたいたい」と語った。

これに先立ち、来日した台湾の委員七人は衆参両院議長に会い、立法院の六割に当たる百三十六人の超党派委員の署名が入った法案の早期成立を求める要請書を提出した。

「戦時性的強制被害者問題の解決の促進に関する法案」をまとめたのは、民主党の岡崎トミ子氏、共産党の八田ひろ子氏、社民党の田嶋陽子氏ら野党三党七人の女性議員。

法案は「慰安婦」という言葉は、被害者が受けた被害の実態を反映していない」として「慰安婦」を「戦時性的強制被害者」と規定する。日本政府による公式謝罪と、名誉回復に資するために必要な金銭の支給を行うこととしている。このほか、内閣府に調査推進委員会を置き、実態調査を行うことも盛り込んでいる。

岡崎氏は「やはり国家による正式な謝罪とそれに伴う補償が必要」として、次

のように語る。

『国家補償回避』

怒り、反発強く

「慰安婦問題が世に出てから十二年。その間、村山元首相がおわびをし、河野洋平元官房長官が筆の関与を認めた。ところが、ドイツなどどの国も国家が謝罪し補償しているにもかかわらず

政府は『解決済み』
今国会は困難

らず、日本が進んだのは民間基金による基金の創設で、これには韓国、台湾などの被害者から「日本政府による国家補償を回避するもの」として反発が強く、怒りがものすごいということが分かったのです」

『戦争は国がやったこと』

韓国の金大中大統領は九八年四月、基金の一償い金を受け取り拒否を表明し、その代わりに韓国政府が一人当たり約三百萬円の支援金を支給することにした。台湾も同様の措置を取ったため、償い金の受給者数は低迷していた。

「女性のためのアジア平和国民基金」は村山政権の下、「国家賠償は解決済み」とする日本政府に代わって民間基金を基本に発足。韓国の元慰安婦に対し

元日本軍慰安婦への正式な謝罪などを盛り込んだ法案の早期成立を訴える民主党の岡崎トミ子参議院議員(中央)と台湾の立法院委員の



野党の女性議員
台湾の立法院委員
解決へ法案成立訴え

しかし、自民、公与党は政府と同様、済み」との立場をとり、今国会での成立をうたう。

21世紀の視点

アジア女性基金が設立以来七年目、韓国、フィリピン、台湾での償い事業を終える。この機会に、基金の理念、基金がやったこと、できなかったことを記しておきたい。

基金は、「慰安婦」問題について道義的責任を認めた日本が、その責任を具体的な形で果たすため、一九九五年七月、村山内閣の時に決ったものである。赤松良子、大藤淑子、下村浩子、鶴見俊輔などの方々が呼びかけ、参院議長だった原文兵衛氏が理事長となって発足した。

村山内閣は、被爆者、水俣病患者、アイヌなど、戦後五十年間放置された人々の問題解決を使命とした。基金の設立もそのひとつだった。

ただ、慰安婦問題の解決には多くの困難があった。第二次大戦と植民地支配で日本が韓国の国民に与えた害は、朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)を除き、平和条約や賠償協定などにより法的に解決されていた。他方、多くの元「慰安婦」は、支援団体が主張する法的な補償を求めた。

特別立法で元「慰安婦」について例外を認めようという動きもあったが、政府と国民の間で抵抗が強く、見直しは立たなかった。裁判に訴えた被害者もいたが、保守的な日本の裁判所が日本政府の法的責任を認める可能性は低かった。

高齢の被害者に残された時間は限られている。百歳満歳でなくても、せめて政府と国民の償いの気持ちを伝え、被害者の余生を精神的・物質的に支える一端となるべきではないか。現実には年々、病気がちで医療福祉を必要とする元「慰安婦」がいる以上、実現可能性が低い法的補償だけにこだわるべきでない。法的な責任追究が実現すればそれは結構なことだが、最低限、道義的責任を認めた政府の具体的な措置と、償いを果たしたいという国民の心を実際に被害者に届けるべきだ。これが基金に

かかった者の気持ちだった。

村山内閣は基金発足の際、(1)被害者一人一人に総理のお詫びの手紙を届け、(2)政府予算から医療福祉事業を実施し、(3)慰安婦問題を歴史の教訓とするための歴史資料を収集

再評価願う「市民の償い」

アジア女性基金の光と影



大沼 保昭

おおぬま・やすあき 東大教授(国際法)。女性のためのアジア平和国民基金(アジア女性基金)呼びかけ人・理事。『慰安婦』問題とアジア女性基金(共著)、『人権、国家、文明』など著書多数。

基金が種々の被害者と接してみると、そこには「国家補償でなければダメ」というマスコミの論調とは違ふ反応があった。むしろ彼女たちに不満はある。でも、償い金と医療福祉を受けることができるのはありがたい。総理からのお詫びの手紙は嬉しいかった。元「慰安婦」の中にはこういう気持ちを語る人たちがいた。日本の市民の中には、基金と政府を批判しながらも、被害者のために拠金してくれる人もいた。

フィリピンでは、支援団体が日本政府を批判しつつ、償いを受け取りたいという被害者の意思を尊重して、償い事業に協力した。韓国と台湾では厳しい論調は変わっていないが、償いを受け入れた被害者はかなりの数に上る。三つの国・地域で一人あたり三百二十一万円相当の償い事業(現地の物価水準では数倍、数十倍の価値になる)を受けた方は二百八十五名、オランダで医療福祉を受けた方は七十九名に上る。

現存する被害者の中で、これが一部にとどまるのは確かである。ただ、十分な医療も受けられず、精神的にも辛い思いで生きてきた元「慰安婦」一人一人のことを思えば、四百に満たない方々にはあっても、償いの気持ちを届けできなかったこと、何となくともあれ、良かった。七年間の仕事にかかわってきた者の、複雑な、しかし正直な、気持ちである。

基金の理念は、公共的存在としての国民・市民が政府と共に過去の日本の償いを果たすというものだった。「官公、民私」という二分法が強く、NOOが反政府に流れやすかった日本や韓国では、この理念は少し早すぎたのだから。基金が反発を受けた一因はそこにある。だが、この理念は、市民やNOOの公共的意識が高まる二十一世紀にこそ、再評価されてほしい。そこで「公」を担うのは、政府と市民なのだから。

2002.7.23 朝日

私の視点

参議院議員（民主党）

岡崎 トミ子



opinion news project

「従軍慰安婦」問題の解決をめざす民主、共産、社民各党共同提出の「戦時性的強制被害者問題解決促進法案」が23日、初めて国会でこの問題を取り上げられてから12年。法案提出からでも1年以上がたつ。

旧日本軍により、アジア各地で兵士たちとの性的関係を繰り返し強制されてきた女性たちは8万〜20万人とされる。当時未成年で、失策のため命を失ったり健康を害したりした被害者も多い。心身の痛みと周囲の無理解、偏見に苦しむ彼女らが今求めるのは、政府の公式な謝罪と名誉回復の措置としての個人補償だ。

◆従軍慰安婦 個人補償立法で解決図れ

だが政府は「戦後補償はサンフランシスコ平和条約と2国間条約で解決済み」として、彼女たちの声にこたえようとしない。今年3月、参議院内閣委員会での私の質問に対し福田官房長官は「従軍慰安婦問題は非人道的行為。国民一人一人が胸に刻むべきだ」と答弁したが、政府の立場は何ら変わっていない。

民間団体「女性のためのアジア平和国民基金」創設と被害者への「償い金」（見舞金）支給だ。募金を寄せた国民の気持ちは大切だろう。しかし、多くの被害者や被害国が納得せず、心からの謝罪の気持ちとしては伝わっていないのだ。

基金には、元「慰安婦」らの「日本政府の直接謝罪と個人補償がない限り名誉回復はない」とする反発が相次いだ。そうした抗議活動が今年5月の「償い金」申請受け付け終了時まで続いた事実を重く受け止めるべきだ。「両国の関係のためには基金の事業の中止が望ましい」とする韓国側の関

向け、もっと大きな運河に、と訴える。今回の法案は国の責任で公式に謝罪し、名誉回復措置としての金銭支給を表明しようとするものだ。98年の山口地裁下関支部判決で告発された「立法不作為」の責任を遂ましながら果たそうとするものでもある。だが政府・与党には正面から訪れた際、周囲のルハデ

知られていなかった点を考へても、これは当たり前前の段階ではないか。日本ではこの問題がまだ十分な関心の集まっているとは思えない。だが、このままでは死にきれない（在日の被害者宋神道さん）などと訴える彼女らの年齢を考えれば一日も早く正面から謝罪する日本の姿をみてもいい。苦難と闘いの人生の終わりに、少しでも報いたい。

投稿規定 1300字程度。住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒104-8001朝日新聞社企画報道室「私の視点」係へ。電子メールはtsuten@ed.asahi.com 二重投稿、採否の問い合わせはご遠慮下さい。本社電子メディアにも収録します。原稿は返却しません。

日本国会『慰安婦法案』の迅速通過を

先月の16日から23日まで、日本国会の内閣委員会は日本の民主党・社民党・共産党が合議して国会に提出した『戦時性的強制被害者問題解決促進法案』という長い題目の『慰安婦』関連法案を審議した。

傍聴席には100名余りの日本の市民団体会員らが詰めかけ、日本に居住する日本軍『慰安婦』生存者である宋シンドハルモニも見守っていた。岡崎トミ子民主党議員が宋シンドハルモニの証言を読み上げるときには、内閣委員をはじめとして傍聴人の半分以上が目頭を押さえていた。私も日本政府の公式謝罪と法的賠償を最後まで求めながら亡くなった金学順ハルモニの姿が脳裏をかすり、熱い涙を禁じ得なかった。

これまで日本政府は日本軍『慰安婦』問題について、法的責任を負うことは出来ず、裁判で補償をしようにも該当する国内関連法がないという態度を一貫して堅持してきた。しかし、野中元官房長官が1999年9月の参議院決算委員会で『新しい法律を作り謝罪と賠償をしても憲法違反とはならず、全く問題はない』との見解を示し、去る3月20日の内閣委員会では、福田官房長官が『慰安婦』の罪は人道に反する罪であると答えて、国際的な人権感覚を持っていることを示したりもした。23日、同法案を審議する日には杉浦官房副長官(マ)も「女性のためのアジア平和国民基金(以下、『国民基金』)で終わったということではない」との答弁をし、これまで7年に渡った『国民基金』の限界を認め、新しい代案を模索しなければならない転換点に立っているという現実認識を20名余りの内閣委員と共有する席となった。

この法案は日本軍『慰安婦』問題を日本国家の責任のもとに公式謝罪し、被害者に対する名誉回復の証として賠償を実現するものである。日本の公式謝罪がない限り、被害者の名誉は回復されない。

そして、これにともなって法的賠償が可能なのである。韓国政府もこれに反対するはずがない。この法案審議の噂を聞いて、韓国の国会議員100名が歓迎の意を表し、中国の立法議員137名が、台湾の国会議員は132名が歓迎の意を伝えた。

1991年に205名が登録した我が国のハルモニは、今では137名に減少した。日本の国会はこの法案を継続審議し、迅速に通過させねばならない。これを通じて韓日間の歴史作りの土台を敷き、お互いの歴史の中に溜まっている恨みをひとつひとつ除去して行かねばならない。 /金允玉 韓国挺身隊問題対策協議会 常任代表

(ハンギョレ新聞 2002年 8月 2日 与論欄)

지난달 16일부터 23일까지 일본국회 내각위원회는 일본의 민주당·사민당·공산당이 합의하여 국회에 제출한 '전시 성적 강제피해자 문제 해결 촉진 법안'이라는 긴 제목의 '위안부' 관련 법안을 심의했다.

방청석에는 100여명의 일본시민단체 회원들이 참여했으며, 일본에 거주하고 있는 일본군 위안부 생존자 송신도 할머니도 지켜보고 있었다. 오카자키 도미코 민주당 의원이 송신도 할머니의 증언을 읽어 내릴 때는 내각위원들 비롯한 방청인의 절반 이상이 눈시울을 적시고 있었다. 나도 일본 정부의 공식 사죄와 법적 배상을 끝까지 요구하다가 돌아간 김학순 할머니, 아직도 수요시위를 하고 있는 할머니들의 모습이 뇌리를 스치며 뜨거운 눈물을 금할 수 없었다.

그동안 일본 정부는 일본군 위안부 문제에 대하여 법적 책임을 질 수 없으며, 재판에서는 보상을 하려 해도 해당되는 관련 국내법이 없다는 태도를 일관되게 견지해 왔다. 그러나 노나카 전 관방장관이 1999년 9월 참의원 결산위원회에서 '새로운 법률을 만들어서 사죄와 배상을 해도 헌법에 위반되지 않고 아무런 문제도 없다고 견해를 표했고, 지난 3월 20일 내각위원회에서는 후쿠다 관방장관이 '위안부'와 죄는 인도에 반하는 죄라고 대답해서 국제적인 인권감각을 가지고 있음을 나타내기도 하였다. 23일, 동 법안을 심의하는 날에는 스

가우라, 부관방장관도, '여성을 위한 아시아평화국민기금(이하 '국민기금')으로 끝났다는 말은 아니다'라는 답변을 하여, 그동안 7년에 걸친 '국민기금'의 한계를 인정하고 새로운 대안을 모색해야 하는 전환점에서 있다는 현실인식을 20여명의 내각위원들이 함께 공유하는 자리가 되었다.

이 법안은 일본군 위안부 문제를 일본 국가의 책임 아래 공식 사죄하고, 피해자에 대한 명예회복 조치로서 배상을 실현하자는 것이다. 일본의 공식 사죄가 없는 한 피해자들의 명예는 회복되지 않는다.

그리고 이에 따라 법적 배상이 가능한 것이다. 한국 정부도 이에 반대할 리 없다. 이 법안 심의 소식을 듣고 한국의 국회의원 110명이 환영의 뜻을 보냈고, 중국 입법위원회는 137명이, 대만의 국회의원들은 132명이 환영의 뜻을 보냈다.

1991년 205명이 등록을 했던 우리 할머니들은 지금은 137명으로 줄었다. 일본 국회는 이 법안을 계속 심의하여 조속히 통과시켜야 할 것이다. 이를 통해 한 일 간의 세 역사 만들기의 주춧돌을 놓고 서로의 역사 속에 살아 있는 양금들을 하나 하나 없애나가야 할 것이다.



김문옥/
한국정신대문제대책협의회
상임대표

元慰安婦らと会合

【マニラ19日】秦忠

弘「旧日本軍の慰安婦問題に取り組み参院の岡崎

トミ子（民主党）と田嶋陽子（社民党）の両議員は18日午後、マニラ首都圏のホテルでフィリピンの元慰安婦や戦時性暴力被害者、遺族ら約80人と会合を開いた。

両議員は、日本政府の公式謝罪と元慰安婦に対する個人補償などを盛り込んだ民主、共産、社民の3党共同提案による「戦時性的強制被害者問題解決促進法案」（参院で継続審議中）の提案者。この日の会合では参加者から、法案の早期成立を望む声が相次いだ。

2002. 8. 19 朝日

21世紀の視点

「慰安婦」であったと最初に韓国
の金学順さんが名乗り出てこの八月
十四日で満十一年が経過した。しか
し、今なお被害者側から日本政府に
対して公式謝罪と補償を求める声が
続いている。金学順さんは「女性の
ためのアジア平和国民基金」を最後
まで拒否して日本政府の公式謝罪と
補償を求める書簡を橋本首相(当時)
に送ったが、黙殺されたまま九七年
十二月になくなった。すでに名乗り
出た被害者の三割以上が亡くなった
が、日本政府は被害者の納得できる
対応を欠いたまま戦後の五分の一を
やりすごした。被害者たちからは「日
本は私たちが死ぬはずで終わると
思っている」(金順徳)との悲痛な
声が上がって久しい。

七月二十日に「女性のためのアジ
ア平和国民基金」が七年間の「償い
事業」の終了を名紙を通じて告示し
た。翌日の本報で大沼保昭氏は「再
評価願う『市民の償い』」と題する
文を寄せ「三つの国・地域で償い事
業を受けた方は二百八十五名、……
償いの気持ちをお届けできたこと
は、何はともあれ、良かった」と安
堵の気持ちを吐露している。

しかし「償われる側」の心情は「良
かった」というには程遠いものであ
る。「協力的」と大沼氏が評価する
フィリピンの被害者でさえ、「被害
者にとつての正義は、公式謝罪を伴
った国家補償を通じてのみ実現され
る」(フリーア・ボラス、小泉首相宛
書簡、〇三年五月)と九九年に「基
金」からパッケージで送られた小淵
首相の「お詫びの手紙」を最近小泉
首相に返送し、「死ぬ前に正義を実
現して欲しい(同)と訴えている。
ソウルの日本大使館前で毎週水曜日
に繰り広げられてきた「水曜デモ」
は先週五百二十二回目を数えた。「納
得いく解決を得るまで、百年かけて
も代を継ぎ日本政府を追及する」と
の言葉を繰り返すように若い世代の

参加が増え、この日も十数人のハル
モニを市民三百人が囲んだ。
「償う側」と「償われる側」の間
になぜこれほど大きなギャップが生
じたのか、この七年間で「日本政
府の防波堤となって補償への道を閉ざ

姿の謝罪めう差意識

ら「慰安婦」元願う回復尊厳



金 英姫

キム・ヨンヒ 在日韓国人2世。歯科医師。1952年大阪生まれ。
戦後補償実現市民基金運営委員。著書に『よくわかる韓国の「慰安
婦」問題』(編訳)、『「慰安婦」への償いとは何か』(共著)など。

仕方ない。純粋の「民間基金」
あれば被害者側が善意を拒む理
もなく、双方の懸け橋となりえ
てであろう。

大沼氏は「現実に年若い、病氣
ちで医療福祉を必要とする元「慰安
婦」がいる以上、実現可能性が低い
法的補償だけにこだわるべきではな
い」。政府は「最低限、道義的責任
を認めた」とこの本質を実現可能
性というレベルで計り、問題解決の
本質ともいえる「国家の責任」を
トリックですりとりかわした。だが
被害者たちがなぜ「実現可能性の低
い」国家による補償にこだわり続け
るのか、その理由をこそ被害者の補
点から理解すべきではないか。

かつて「性の道徳」として扱われ
人間性を踏みじられた被害者にと
って、第一に取り戻したいのは人間
としての尊厳である。日本政府の公
式な謝罪がない限り被害者の名誉は
回復されないと考える。それゆえ「ハ
ルモニ」たちへの物心両面の支援は私
たちがする。日本は加害国日本しか
できない公式謝罪と補償を実現して
欲しい」と韓国政府や行政、市民団
体はさまざまなケアを行ってきた。
問題を解く鍵は加害者の側にしか
ないからである。

かつて冷戦時代にワルシャワを訪
れたプラント西独首相がユダヤ人ゲ
ット跡の慰霊碑にひざまずき、う
なだれた。ひざまずくことは欧州で
は千年前からもっとも強い犯罪の表
現だという。この象徴的行為によっ
て、ユダヤ人被害者の尊厳は回復さ
れ同時にドイツ自身の尊厳回復の一
歩となった。その後も、こうした行
為を重ねられてきている。レトリッ
クを超えて伝わるものがある。加害
者の側の許しを請う姿勢と行為によ
って変わるの被害者と加害者の関
係性である。それは対等なパートナー
として21世紀を共に生きていくた
めの礎となるのではないだろうか。

してきた」と被害者側は「基金」を
非難し続け、善意で資金をした人た
ちも「何をやっても糾弾されるばか
り」と感じ始めた。ギャップはさら
に広がってしまった。突然は時間
と善悪とお金の浪費と評されても

2002.6.20. J.T.

Time and fading memories fail to halt Germany's hunt for Nazi war criminals

By ADAM TANNER

HAMBURG, Germany — A defendant ex-Nazi who once had the power to mete out death rises in court to defend himself against charges of unspeakable horrors.

Such a scene has been repeated often since the Nuremberg trials first judged those responsible for World War II. Generations later, such a trial is again under way in a Hamburg courtroom.

Former Nazi SS officer Friedrich Engel, 93, dubbed the "Butcher of Genoa," is the latest to answer charges of war crimes during the Third Reich. Experts say other genocidal Germans are likely to follow.

"Justice in the most severe cases demands that they still be tried even today," says Joachim Riedel, deputy head of Germany's central office hunting down Nazi war criminals.

"Those cases so gruesome, so brutal, especially in the persecution of the Jews, should be followed up forever."

Engel was convicted in absentia by an Italian court in 1996 for killing at least 246 Italian prisoners of war in four separate massacres.

He is now on trial in his home town of Hamburg charged with ordering the murder of 59 Italian prisoners in May 1944 in revenge for an attack on a cinema for German soldiers. He has denied ordering the shootings and said he had been present at the killings only as a witness.

The court atmosphere is surprisingly relaxed given the severity of the charges. The judges address the accused as "Dr. Engel" — he has a degree in education — and at the end of twice weekly morning proceedings he is free to go home.

With piercing blue eyes that still have no problem reading small text and a full head of white hair, Engel projects an intimidating image.

On the first day of the trial in May, he warned journalists to get out of his way or he would remove them with his walking stick. However, he did speak to this reporter, saying he regretted the past but that he was only following orders.

"In pure military matters, revenge killing is allowed," Engel said. "If I was a murderer, what was I doing living normally for 56 years among everyone else?"

"Why have the trial now?" he said. "I find it somewhat unfair. It is all very trying."

Engel's attorney Udo Kneip said the death of many witnesses and fading memories so many years later make Nazi trials problematic today. But he said they would be justified for top figures such as Adolf Hitler's right-hand man Martin Bormann.

Bormann, who was born in 1900, is still on the mind of prosecutor Riedel, but Bormann's son, who is also called Martin, says there is no chance he is still alive.

"My father has been dead since 1945; it makes no sense to look for him," he told Reuters.

The son, who has long sought reconciliation with Nazi victims, said trials so long after the Nazi defeat are unlikely to put anyone behind bars but still make sense in some cases.

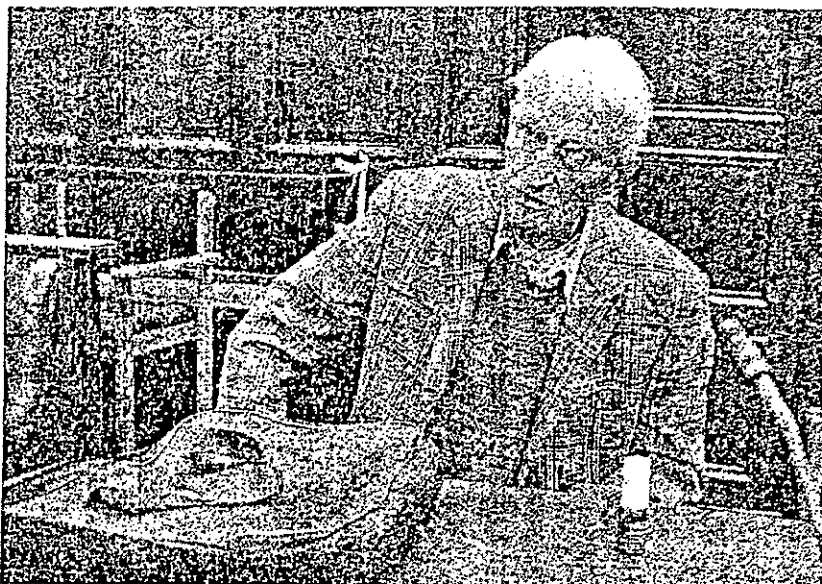
"You can make a trial, but it is

not possible to put them in jail because they are too old," he said. But "the verdict has a purpose in determining who is guilty."

Most historians believe Bormann senior died in 1945. He was sentenced to death in absentia at

Nuremberg in 1946.

Although memories have faded, the passage of time has brought certain World War II episodes into clearer focus as long-sealed archives are opened and other living war criminals unmasked.



FRIEDRICH ENGEL, a 93-year-old former Nazi SS officer, awaits the start of his trial June 12. Dubbed the "Butcher of Genoa" by the Italian media, he is charged with ordering the killing of 59 Italian prisoners in May 1944 in revenge for an attack on a cinema for German soldiers. AP PHOTO

"Much depends on political circumstances," said prosecutor Riedel. "Italy for example had long kept much material on German war crimes under lock and key."

"It had a political basis as the Italians feared by pursuing German war criminals, the world would see that the Italians had also committed war crimes and would demand their prosecution."

Sometimes it is not even difficult to find the suspected war criminal. Engel has lived in Hamburg for the past 56 years. He said he was barred from working in his chosen field of education because of his SS background so he became a salesman.

The end of the Cold War has also eased access to eastern European archives.

"We may have many cases in a year as we are carrying out a great amount of research in the archives. If we find something, there will be concrete cases," Riedel said.

In many ways, the Engel case, which is scheduled to end by July, and others that may follow it are as much about working through the past as in meting out justice today.

"For history, it is good that this is taking place," said Ingo Muench, a law professor who has been observing the Engel trial. "For the Italian side, it is very important."

Since World War II, Germany has opened more than 100,000 Nazi-related cases resulting in 6,500

convictions, according to the Justice Ministry. In recent years the country has seen several prominent successes.

Last year a German court sentenced ex-SS officer Julius Viel to 12 years in jail for the World War II murder of seven Jewish prisoners in early 1945 near the Theresienstadt concentration camp in what is now the Czech Republic. Another Theresienstadt guard, Anton Malloth, was sentenced to life imprisonment.

The biggest fish among top Nazis who could still be alive is probably Alois Brunner, right-hand man to the Gestapo's "technician of death" Adolf Eichmann. He was in charge of the Drancy camp outside Paris where Jews rounded up in France were held before being sent to Nazi death camps.

He was last seen by a reliable witness in 1992. It is suspected that if alive he would be in Syria. "Herr Brunner is still being looked for, as we do not know if he is still alive," Riedel said.

Of course, the curtain will eventually fall for all Nazi war crimes trials.

"We are moving ever closer to the biological end," said Riedel. "In 20 years no one will still be alive, and in 10 years the last survivors will no longer be fit enough to stand trial. I think it will come to an end in the next five or 10 years."

"But as long as cases can be brought, they will be tried."

002.7.3 朝日

日韓 もう後戻りしない

W杯共催の意味 崔 相龍・前駐日大使に聞く

世界へメッセージ

日本と韓国による初の共催となったサッカーW杯が終わった。念願の決勝トーナメントに進出した白熱。とくに韓国は4強入りという快進撃で、国内は異常な熱気に包まれた。韓国にとってこのW杯は何だったのか。W杯後の日韓関係はどうなるのか。今年7月まで韓国の駐日大使をつとめた崔相龍・高麗大学教授(国際政治学)に聞いた。

ソウル支店・崔相龍(西也)

第三の奇跡

韓国代表は4位の
大健闘でした。
だれも予想していなかつた奇跡だ。韓国には世界が驚く奇跡が二つあった。問題を抱えつつも「漢江の奇跡」とまで言われた産業化。大変な犠牲を払いながらも自らの力で成し遂げた民主化だ。そこにW杯が加わった。このW杯で韓国人は世界から認められたという自信の存在感を高めた。



ソウル大卒。東大で博士号を取得。98年の金大中大統領の訪日に同行、日韓の新時代を切り開く重要な役割を担った。00年3月から韓国初の民間出身駐日大使に就任。日本では「講演大使」の異名をとるほど全国を行脚。だが、昨年は歴史教科書問題など日韓間の懸案に苦勞した。今年2月の退任後、高麗大に復帰した。60歳。

二運動も全国に広がった。韓国人は歴史的にそういう集団パフィーを備えているといえる。

——これの上から見る革命のようでした。

赤い色に染まったところ全体主義国家での現

日韓の行方

——W杯後、日韓関係はどうなりますか。

日本と韓国の交流の歴史は長く深い。共同作業をしたことはあまりなかった。だが、最近では展示会などの文化行事は3日に一回くらいやっている。学者間の共同研究も進んでいる。その共同作業のクライマックスがW杯だった。最初は日韓双方とも一緒に何かやることに消極的だった。でも、いざやってみると少なくとも互いに損はない。半面、アジアの代表として世界に放つメッセージには極めて大きな意味がある。

W杯後の最大の日韓共同作業は自由貿易協定(FTA)の締結になるだろう。それが正しい方向だという認識では一致しているが、分野別にみると反対が強い。日本の大衆文化を開放する時も反対が多かったが、実施すると結果的にはよかった。FTAも前向きに検討すべきだ。

——もう日韓関係は後戻りしない。

日韓は一緒にW杯を成功させた。逆戻りはないだろう。ハードルがあるとするは歴史認識問題だが、98年の日韓共同宣言が現在可能な最善の策だ。韓国は年末に大統領選を迎えている。だが、それが次期大統領になる共同宣言の精神に合う限り、少なくとも現状維持、あるいはそれ以上の対日関係となるはずだ。日本の首相や閣僚が不適切な言動をすれば問題だが、個々の政治家の発言までに韓国政府がいざざ口出す時代でもない。日韓関係は慎重でありながら楽観的というのが私の持論だ。互いに相手が何を思っているのかを配慮しながら交渉すれば、果の越えられない壁はないと願っている。

2002.7.4.
産経

「国家主権 著しく侵害」

【ワシントン3日ロイター】米国防総省高官は2日、発足したばかりの国際刑事裁判所（ICC）について、米国の平和維持活動に従事している米軍兵士にも適用されることへ強く反対していることに関して、「締結国以外を拘束する条約は国際法上前例がなく国家主権の原則を著しく侵害する」と述べ、国際法の理論上からもICC設立条約を認められないとの見方を示した。

ブッシュ大統領も同日、ICCをめぐる国際連安全保障理事会で米国の欧州諸国など対立している事態は「早急に解決するよう努力する」と述べると同時に、「米国の訴追対象から米国人を除外する要求は政権の根

「政権の根本政策」

米国人の訴追除外

本的な政策で、変更することはないと強調した。高官は、ICC設立条約に関する基本的な考えとして、「米国の自国の考えを他国へ強要する意思はない。条約締結国がICCを利用するのは自

■国際刑事裁判所（ICC）検察、予審、公判、上訴、書記の計5局で構成。裁判官は18人、検察官は1人。ICCが裁く犯罪は①ジェノサイド（虐殺・虐待）罪②人道に対する罪③戦争犯罪④侵略の罪。2審制で最終判決は終身刑。時効はない。設立条約は1998年7月に採択、1日現在、設立条約に署名した139カ国のうち締結国は74カ国。ICC制度下では条約締結国以外の国民も一定条件下で訴追を免れない。

に条約締結国とその国民のみに適用されるべきである」と述べた。

また、国家主権の侵害以外に米国の同条約に反対している理由として、①米国の責任を持つことができない組織による刑事訴訟が行われる②ICCには陪審裁判を受ける

権利など、米国法が被告人に保障している権利の一部がない③条約の文言からはICCが訴追対象を恣意的に広げられ、政治的に偏った訴追などが行われる危険があるのに対し、適切な監督機関が存在しないなどを列挙している。

そのうえで、ICCが訴追対象としている「ジェノサイド（虐殺・虐待）」や「人道に対する罪」、戦争犯罪などは、第二次世界大戦以降、複数にわたって設置されてきた個別の特別国際法廷を設置することが適切との認識を重ねて強調した。

2002. 7. 9. 産経

アピール

都議 土屋敬之 50
(東京都板橋区)

軍だ」が結論だ。

慰安婦問題については、強制連行の実行行為者として告

発を行った「吉田清治証言」

は、その後、捏造であったことを証明されている。また、

ある。いわゆる「従軍慰安婦」への補償と謝

罪をすべきとする内、との契約に基づいた「公娼」

「従軍慰安婦」補償法案に異議あり

答の法案だ。

慰安婦問題を議論す

るとき結論はあらか

じめ決まっている。慰

安婦と称する証言に對して十

分な検証もせず、つじつまが

合わないことがあっても、無

視される。「加害者は旧日本

であり、軍は主として衛生や

施設管理を行っていたに過ぎ

ないことも証明されている。

慰安婦の是非を問われれば、今

日、そうした性を売り買ひの

対象とする行為について批判

されることは当然である。

しかし、昭和三十三年まで

公娼は存在していたし、合法

であった。また、軍と慰安所

の関係は何も日本に限ったこ

とではない。外国にいくつで

も例はある。つまり、今日の

時点で公娼は批判されるが、

当時、公娼の存在は批判され

るものではなかった。

強制が問題ではないかとの

反論があるが、日本政府の行

った調査でも強制連行を裏付

ける資料は見つかっていない。

あるのは、不確かな証言

だけ。しかし、日本政府は韓

国の要求に屈して、「河野官

房長官談話」を発表した。後

に石原官房副長官(当時)の

証言で、それは証拠もないま

まに発表した談話であること

が判明している。当時の宮沢

首相、河野外相は、外国との

稚拙な取引の結果、国の誇り

を売ったことになる。そし

て、この談話が教科書の内容

まで引き上げられている。

それを上塗りするように、

今回の議員立法の動きがあ

る。検証で一定の結論が出て

いるにもかかわらず、何を議

論しようというのか。そこに

外国に迎合して歴史を捻じ曲

げようとする意図が見える。

今国会がしなければならな

いことは、河野談話が出された

経過の情報公開と、談話の撤

回である。国の名譽を売る行

為をやめてもらいたい。

“日총리 신사참배 위헌” 한국인, 日법정서 밝힌다

고이즈미 준이치로(小泉純一郎) 일본 총리의 야스쿠니(靖國) 신사 참배 문제를 다루는 재판에 한국인이 출석해 신사참배의 부당성을 밝힌다.

김종대(金鍾大) 태평양전쟁희생자유족회 회장은 9일 오전 11시 일본 도쿄지방법원에서 열리는 고이즈미 준이치로 일본 총리와 이시하라 신타로(石原愼太郎) 도쿄 도지사의 야스쿠니 신사 참배 위헌소송 제2회 구두변론 재판에 원고 대표로 출석한다고 밝혔다.

/金載勳기자 mars@chosun.com

「日総理の神社参拝は違憲」 韓国人、日の法廷で主張する

小泉純一郎日本総理の靖国神社参拝問題を扱う裁判に韓国人が出廷し、神社参拝の不当性を述べる。

金鍾大太平洋戦争被害者遺族会会長は、9日の午前11時より東京地裁にて開かれる、小泉純一郎日本総理と石原愼太郎東京都知事の靖国神社参拝に対する違憲訴訟の第二回口頭弁論に、原告代表として出廷すると明らかにした。 /金載勳 記者

(朝鮮日報 2002年 7月 9日 社会面)

2002. 7. 12. 東京



11日、韓国初の女性首相に任命され、総長を務める梨花女子大の学生の拍手に手を振って応える張裳氏＝A P

韓国の首相 大統領が予算提出権、大臣任命権、軍統帥権を持ち、首相はその任務を補佐する。日常的には各省庁の政策調整を行い大統領に報告する。大統領によって任命され、大統領が事故などで職務を遂行できなくなった場合の権限代行順位は第一位。

(ソウル支局)

ニュースメーカー

韓国新首相

張裳氏

韓国の名門・梨花女子大出身で、延世大、米国の大学院で神学を修めた。

対話重視の神学者

キリスト教、女性学だけでなく、統一問題にも詳しい。二〇〇〇年六月の南北首脳会談の際には韓国側代表団の一人として、平壤を訪問。北朝鮮の女性団体と意見交換した。

だから抜てきされたとは思わない」ときっぱり。金大中大統領や李姬鎭夫人に近いとみられる点についても、「大統領とは午さん会で会っただけ。夫人とは

うだ。

現在は北朝鮮領の平安北道生まれ。神学者の夫との間に二男。六十二歳。

(ソウル・韓ヶ瀬祐司)

2002. 7. 12. J.T.

Kim picks woman prime minister

SEOUL (AP). President Kim Dae Jung named seven new Cabinet members Thursday, including a woman prime minister, in a government reshuffle following a recent deadly naval clash with rival North Korea.

Chang Sang, a former university president, was named prime minister, the first woman to hold the important post in South Korean history. Chang, who takes over from Lee Han Dong, must still gain the approval of the National Assembly.

Retired Gen. Lee Jun, former commander of South Korea's largest field army, was named as defense minister.

The reorganization came 12 days after the navies of the two rival Koreas fought a gun battle near their disputed western sea border in which four South Korean sailors were killed and 19 others



Chang Sang

wounded.

North Korea admitted that its military also suffered casualties, but did not disclose details. South Korean officials believe that about 30 North

Korean sailors died.

The clash dealt a blow to the South Korean president's "sunshine policy" of engaging North Korea. Critics denounce it as giving away too much in return for little.

Outgoing Defense Minister Kim Dong Shin was criticized for not taking a resolute stand in the naval skirmish along the poorly marked western sea border June 29.

The fight broke out when two South Korean Navy patrol boats tried to chase out two North Korean warships which intruded into South Korean-controlled waters in the Yellow Sea.

Also affected in the shakeup were the justice, tourism, information, health and maritime affairs ministers.

The reorganization comes ahead of parliamentary elections in August and presidential voting in December.

2002. 7. 15. 朝日(9)

「100人とかそんな殺さん」

「70歳になって夢に出よる」

南京戦元兵士102人の記憶

南京戦・元兵士たちの証言(抜粋)

- 南京陥落の次の日でしたけど、南京城内の倉庫がいっぱいある所でした。兵隊が中国兵をいっぱい連れてきてね、倉庫に詰め込んでいるんです。中国人を殺すのに「もう弾が足りない」言うてね、燃える物持ってきて積み上げて火をつけたんです。(第33連隊第1機関銃中隊)
- 南京大虐殺。あれはみなうそです。30万の人間が死ぬはずがない。自分で撃ったのはそんなにいません。機関銃で撃つのはやたらね、まあえろ撃って10人、20人ぐらい。多分中国人を集めてザッと撃ったんです。そういうことは私はしませんでした。そら10人、20人はまとめて南京城内の掃蕩(掃討)時にやりました。(第38連隊第3機関銃中隊)
- 南京で5人の首を切りました。ハエを殺すのと同じ感覚ですよ。首の前の皮を残して切るのがコツですわ。あぐらをかかせ腕を組ませてるから首を切ったとき前かがみに倒れるんですわ。そうしたら紫金山の方向へ倒れるから日本では皇居へ向けて倒れるのと一緒にですわ。(第38連隊第1大隊)
- 中国人を何人ぐらい殺したかて、言いたいやないな。100人とか、そんな殺さん。そういうことは勢いやからな、本当は。いまの世の中ではそういうこと言っはいかん。戦争中やで、やむを得んで。(第3師団歩兵第68連隊第2大隊)
- 故郷に帰してやると驕(だま)したら、中国兵は喜んで船に乗った。揚子江で船に乗せ、何百人と船にどんどん乗ったところで重機関銃で撃ち殺した。みんなその辺にある生活船でした。その一部始終を見て知っています。(第33連隊第1機関銃中隊)
- 壕(ごう)での処分。向こう(中国人)に掘らせたかも知れんな。穴の前に撃ったら「バタ」って転げますんでね。その時、私が見たのは5、60人やったな。南京入ってからですわね。そんな何万という死体ではなかったな。(第33連隊第1大隊)
- 下関(現地の地名)辺りに徴発(略奪のこと)に出たときじゃ。米や食べ物徴発したんじゃ。そんな時に女も徴発するんじゃ。家の長持ちのふたを開けると中に若い嫁さんが隠れとったんじゃ。縄足(てんそく)で速く逃げられんで、そいつを捕まえて、その場で服を脱がして強姦したんじゃ。やった後、「やめたれ」言うたんやけどな(仲間が)銃で胸を撃って殺した。(第33連隊第3大隊)
- 紫金山から下りて近い城壁のどこへ寄せてあるのは見たけど。城壁の外側の角に寄せて、ようけ詰めてね。射撃やって殺したんでしょ。南京大虐殺のうわさが出たのはずっとあとやないかな。その当時は全然何もかもね。虐殺してた場所は知らんもんね18-

(第33連隊第3大隊)

証言の聞き取りをしたのは、大阪府内の小学校教師の松岡環さん(54)ら3、4人の市民たちだ。37年12月からの南京戦に参戦した9個師団のうち、京都に本拠を置いた16師団の歩兵第33連隊と38連隊を中心に約240人をリストアップ。97年から5年がかりで、元兵士を訪ね歩いては、ビデオや録音テープも回して

聞きこころ始めた。それでも、話が南京戦にかかわると「うかつなことは言えない」と突然口が重くなったり、証言を拒んだりするお年寄りもいた。

「戦争の本当の姿を伝えたい」と戦争体験を聞くことから始めた。それでも、話が南京戦にかかわると「うかつなことは言えない」と突然口が重くなったり、証言を拒んだりするお年寄りもいた。

証言集には、召集時のこと、南京戦前後にしろ口はそのまま残した。所属部隊を入れたが氏名は匿名にしてある。全員がすでに80歳を超えており、インタビュアから間もなく亡くなった

人も10人近くいる。聞き取りをまとめた松岡さんは「心から悔いてる人はあまりに少なかつた。ただ、記憶を呼び起こす中で、中国の被害者に入間らしい心を寄せ下さつた方もいた」と話している。

大半「初の証言」 5年かけ記録

証言集は単行本で950ページになる予定で、『南京戦・閉ざされた記憶』を導いて元兵士102人の証言と題して社会評論社から8月初めに出版される。

証言集は単行本で950ページになる予定で、『南京戦・閉ざされた記憶』を導いて元兵士102人の証言と題して社会評論社から8月初めに出版される。

日中戦争時、南京攻陥戦に従軍した日本軍兵士の証言集が8月に出版される。登場するのは102人の元兵士。60年余りの記憶を呼び起こし、初めて「虐殺」を語ったという人がほとんどだ。一方、手柄話のように話を続ける人や、口を閉ざそうとしたり、虐殺の事実を否定したりする人もいた。これだけ多くの兵士の声が集められたことはこれまでなかった。

た。追い返されたこともある。「中国人が夢に出てきよる。70歳になつてからじゃ」と胸の内を語りながら、強姦体験を語った兵士もいた。

証言集には、召集時のこと、南京戦前後にしろ口はそのまま残した。所属部隊を入れたが氏名は匿名にしてある。全員がすでに80歳を超えており、インタビュアから間もなく亡くなった

韓国俳句紀行

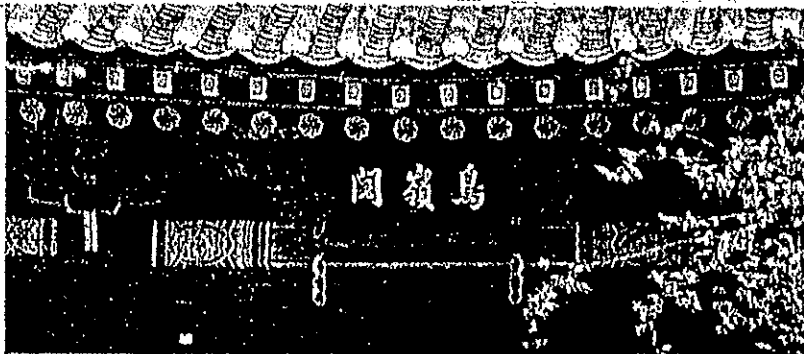
「とにかくあの時代は、韓国人には自由はなかったよ。日本の警察に出会うと、悪いことをしてなくてもビクビクしたもんだ。学校では全開日本語を習わされたよ。そしてある日、村の娘が一人、慰安婦として連れ去られてしまったんだ。十四歳と十五

36 ハラボジ

「歳が娘だったよ」。そまで言うて急に、世界は一つと書かれても、と村で出会ったそのハラボジ(おじいさん)は、うーっと天をながめ、おひとついた。「だから、今平和な時代になっ

しんがりには夕べ匂へる葱畑

「いいんだ、いいんだ、若い連中はそれでいいんだよ。本来はそうしなぐちいけいなんだよ」。再び歩き出そうとした私に、ハラボジは大きな手を出し、両手で固く握りしめてくれた。西日の中を断崖で歩き始めた。植民地時代はすでに過去のことなのだろうか。私たちの世代には無関係のことと書いて切れるのだろうか。立ち止まって大げやきを振り返る。とそこにはもうハラボジの姿はなく、四五人の少年たちが木にぶら下がって声を上げて遊んでいた。



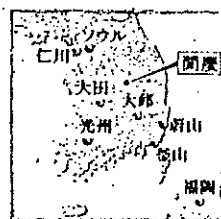
関嶺島

「とにかくあの時代は、韓国人には自由はなかったよ。日本の警察に出会うと、悪いことをしてなくてもビクビクしたもんだ。学校では全開日本語を習わされたよ。そしてある日、村の娘が一人、慰安婦として連れ去られてしまったんだ。十四歳と十五



周囲を威圧するように立つ開慶時・開所跡の巨大な門(東海北道の開慶道立公園で)＝松本剛撮影

「私たちを傷つけまいとするように、慎重に言葉を遣って話してくれた。今、日本の植民地時代を体験していない韓国の若者と日本の若者が、サッカーや音楽などを通して、共に汗を流し盛り上がりつつありますが、そんな姿を見てハラボジはどう思いますか?」私の質問にハラボジは、自分の前髪を打ち消すかのように激しく手を振って断った。



2002. 8. 1 東京

対日賠償請求権

民間分は放棄せず

中国共産党論文で強調

【香港31日鈴木孝豊】「聞社によると、中国共産党機関紙『人民日報』が、中国新史を最近発刊した。『新史』は、賠償請求の権利を留保して

文脈の中で、「日本に
対する千二百億の戦後
国家賠償は放棄したが、
千八百億にのぼる民間
賠償については中国政
府は放棄していない」とし
当局として初めて民間賠
償請求の権利を留保して

いることを表明した。

「対日戦争賠償要求放棄の始末」と題する論文は、日清戦争後に中国が日本に対して巨額の賠償を支払った事実から、第二次大戦後、日中国交正常化後に中国が戦後賠償を放棄した経緯をまとめている。

一九七二年の国交正常化時には、「当時の田中角栄首相は、妥当な金額ならば賠償を支払う用意がある」と表明していたと指摘。中国政府は「日本を中国に引き寄せるために」国家賠償を放棄したが、民間賠償については「国際法に沿って日本に対して被害の賠償を求める機会を残している」と強調した。ただ、千八百億という金額の根拠は示していない。

2002.8.1. 産経

視点

教科用図書
検定調査協議
組みである。

教科用図書やバランスを取り戻す仕
に書いてあるものの、全
体的な記述に満ちていた。

行説に立って書かれ、
一性の相手をさせられ

「性の奴隷」といった
露骨な表現もあった。

南京事件の犠牲者数と
中国の主張を上回

会がまとめた教科書制度
の改定策は「公正さやバ

ランスをさらに求める」
というところから、

「従来以上に調和やバラ
ンスを求め、両論併記を求

め、今までの検定に対し
検定が十分に機能して

る反省の意
味も込めら
れている。

中国や韓国は国定教科
書と違い、日本は検定前

の白紙紙本で原則自由な
記述を認めながら、学習

指導要領などに沿って検
定を行い、記述の公正さ

を確保している現実を
申し訳程度

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

「途上国の役に立って
いる」といった否定

時代背景含め「バランス」必要

求めたい。個々の事象に
ついて、ただ両論併記す
るだけではバランスを保
てない。戦争を扱う場
合、増えすぎた事象
にとらわれず、時代背景
も含めた全体像をバラ
ンスよく書くことが求め
られている。(石川水穂)

一方的記述増す「慰安婦」

「慰安婦」問題については、根
拠のない「強制連行」のた
い「性奴隷」といった
露骨な表現もあった。

元米軍人による対日賠償訴訟

見えぬ「終戦の日」

加州裁判所、審理進める判断

て先帝公が自ら東宮を誘はれた。東宮は西宮に自來によりて、新御所を建てられた。圓澤聖師の御新居にもなつた。一時的に圓澤聖師の御新居に於ては、方丈の御所が、圓澤聖師が一旦お見えになつて御座る御處である。昔々と昔々聖師の御所が、今日來たよび石と近御所との間に御座る。新御所を建てたの成り、を御覧。

連邦裁は棄却：昏迷

[illegible]

食い違ふ判決

[illegible]

求められる事実確認

ナチスとは異なる 国家間で解決済み

[illegible][illegible]

「レンズいっぱい慰安婦ハルモニの苦難を写し込みました」

『奪われた歳月』写真展を開く許賢珠中部大教授

『(対象が)そこにあるから』カメラに写し取る写真作家がいれば、『そこになければならないから』写す写真作家もいる。許賢珠(ホ・ヒョンジュ(43))中部大写真映像学科教授は後者に近い。ソウル忠武路のフジフォトサロンにて『奪われた歳月—慰安婦ハルモニ展(10日まで)』を開く許教授は、6日「生きた歴史に他ならない慰安婦ハルモニたちの姿を世に知らしめることを10年余りの間望んできた」と語った。

「90年初めに届けられていた生存者の人数は205名であったが、今では140名です。このように毎年人数が減り続けているのに、人々は無関心すぎると思います」

展示会の題目は『奪われた歳月』であるが、写された写真は事実上、日本軍によって人生の最も美しい時期を奪われた後のハルモニに『残された生』である。許教授は昨春から、水曜日ごとに駐韓日本大使館前で開かれるハルモニたちの集会現場に足を運び、週末にはハルモニたちの安息の地である京畿道広州市の『ナヌムの家』を訪ね、彼女たちの恨み辛みに耳を傾けてきた。

「地方にいる方たちに会うために釜山、大邱、海南などにも訪れました」

許教授が起居や苦楽をともにしながら写した写真の中のハルモニたちは『慰安婦』という名で一括りに捉えられてはいない。そのかわり、『イ・ヨンスハルモニがバク・オンニョンハルモニの汗を拭いてあげている』『怒りに燃えて地面を転げ回っているファン・クムジュハルモニを、ユン・ミヒャン事務処長が沈静させようとしている』というように、説明ごとに彼女らの名前がさりげなく盛り込まれている。薬の力で毎日を何とか生きながらも、許教授を「赤ちゃん」と呼んで自らが絞ったごま油を手握らせてくれたハルモニたちである。

「普段、声が荒く口うるさくて『いやみ口ハルモニ』と呼ばれているハルモニがいます。ある日彼女が『10年たっても解決されないのに、これから10年過ぎて何が変わるというのか』と泣き叫ぶのを耳にして、胸にぐっとこみ上げてくるものを感じました。『この痛みを記録しておこう。近代女性史を写真で記そう』という決心を今一度したものです」

彼女は「ハルモニたちが一人でも生きている限り10年でも20年でも写し続ける考え」とし、「今回の展示会が、歴史に無関心な若い世代が過去の一時期における民族史の痛みを今一度噛みしめる機会となれば」と語った。 /文＝李自妍記者 /写真＝蔡承雨記者

(朝鮮日報 2002年 8月 7日 『人びと』欄)

《写真説明》

◇許賢珠教授が先日の3・1節のときに鍾路で開かれた祝祭で撮影したバク・オンニョン、イ・オクソンハルモニの写真。

“렌즈 가득 위안부 할머니들 아픔 담았어요”

‘배앗긴 세월’ 사진전 여는 許賢珠 중부대 교수



○허현주 교수가 지난 3·1절 때 종로 거리축제 현장에서 촬영한 박옥련·이옥선 할머니의 사진.

‘(대상이) 거기 있기에’ 카메라에 담는 사진 작가가 있는가 하면, ‘거기 있어야 하기에’ 찍는 사진 작가가 있다. 허현주(許賢珠·43) 중부대 사진영상학과 교수는 후자에 가깝다. 서울 충무로 후지포토살롱(02-2273-5480)에서 ‘배앗긴 세월-위안부 할머니전(10일까지)’을 여는 허 교수는 6월 “살아있는 역사나 타뿔없는 위안부 할머니들의 모습을 세상에 알릴 수 있기를 지난 10여년간 소망해왔다”고 말했다.

“90년 초 정부에 신고된 생존 위안부 할머니 수가 모두 205명이었는데, 지금은 140명이에요. 그렇게 해마다 숫자가 줄고 있는데, 사람들은 무관심하게 지나치고 있어요.” 전시회 제목은 ‘배앗긴 세월’이지만, 사실상 사진에 담긴 것은 일본군에게 좋은 세월을 빼앗긴 뒤 할머니들에게 ‘남겨진 삶’이다. 허 교수는 지난해 봄부터 1주일 중 하루, 주한 일본대사관 앞에서 위안부 할머니들의 집회가 열리는 수요일마다 천장에 나갔고, 주말이면 할머니들의 보금자리인 경기도 광주시 ‘나눔의 집’을 찾아가 그들의 한맺힌 이야기에 귀를 기울였다.

“지방에 계시는 분들을 만나러 부산, 대구, 해남 등도 헤집고 돌아다녔어요.”

허 교수가 동고동락하며 찍은 사진 속 할머니들은 ‘위안부’라는 이름으로 뭉뚱그려지지 않는다. 대신 ‘이용수 할머니가 박옥련 할머니의 땅을 뒤아드리고 있다’ ‘분배 복판져 땅을 구르던 황금주 할머니를 윤미향 사무처장이 진정시키고 있다’



식으로 설명마다 그들의 이름 서자가 들어 있다. 약의 힘으로 하루를 살면서도, 허 교수는 ‘아기’라고 부르며 직접 찐 참기름을 손에 쥐어주던 할머니들이다.

“평소 팔팔하고 입이 험해서 ‘육쟁이 할머니’로 불리는 할머니가 있어요. 하루는 그분이 서럽게 울부짖으며 ‘10년이 지나도 해결 못했는데 앞으로 10년이 지난들 뭐가 달라지겠느냐’고 하는데 제 가슴이 울컥하더군요. ‘그 아픔을 기록해놓자. 근대 여성사를 사진으로 쓰자’라는 결심을 다시하게 됐죠.”

그는 “할머니들이 한 분이라도 살아계시는 한 10년이든 20년이든 그분들의 모습을 찍을 생각”이라며 “이번 전시회가 역사에 무관심한 젊은이들이 지난 시절 민족사의 아픔을 되새길 수 있는 기회가 되면 좋겠다”고 말했다.

/글=李自妍기자 achim@chosun.com

/사진=蔡承雨기자 rainman@chosun.com

2002.8.8 朝日

慰安婦の補償

恩給が立って

無敵 中村 昌人

（横浜市）

元従軍慰安婦に対する政府の謝罪と補償を定める法案が国会で継続審議を続けていると知り、考えをめぐらした。彼女らに第2次大

戦中、直接接した元軍人と
して、ひとことは済ませ
ない思いがします。

彼女らと直接交わった私
たちとしては、まずおわび
の方法として、金銭による
償いで謝罪するよりないだ
ろうと思います。

幸いにも、私たち元軍人
には国から軍人恩給が支給
されており、最低でも年50
万円程度の金銭が取りいま
す。このうちからいくらか
をお世話になった彼女ら
にあずかることは、この先残
りのなく、使えぬのな私
たちにとっては大した負担
とは思いません。

軍人恩給をこのままもう
つづけることは後者のたい
分が、いつまでも彼女ら
への謝罪方法として、この
金が生きてくれるのであれ

ば、喜んで受けていた
きています。

断絶の思いで筆を執りま
した。原給書の内容を統一で
きる団体であれば、ぜひ
参加してほしいです。

総理署理に張大煥氏

来週に動議案を国会提出・・・今月中に聴聞会

ハンナラ党「違憲論乱の中での署理再任命は無責任」

金大中大統領は9日、新総理署理に張大煥（チャン・デーファン 50）毎日経済新聞社長を指名した。7月31日に国会にて張義総理署理の使命否決以後9日ぶりに指名されたものであり、張総理署理は同日に金大統領から任命状を受けた後、公式執務に就いた。

政府は来週の初めに張総理署理の任准動議案を国会に提出する予定で、国会は今月中に人事聴聞特別委員会を実施した後、本会議で無記名投票を実施、国会任准可否にかける。張総理署理に対する任准動議の可否は院内過半数の139席を占めるハンナラ党の選択と、聴聞会の結果が決定的な変数となる模様である。

ハンナラ党の南景弼スポークスマンは「野党はもちろん、メディアと学者、そして多くの国民が総理署理制度の違憲性を指摘しているにも拘わらず、金大統領が再三に渡って総理署理を任命したことは傲慢さのなせるわざで、あまりに無責任な決定」とし、「我々は署理という用語は使わず、内政者と呼ぶ」と語った。

張総理署理は歴代の総理・総理署理・内閣首班45名のうちで8番目の若さであり、そのため政府内では平均年齢が59歳を超える内閣の統括問題が課題となると見られている。（中略）

朴智元青瓦台秘書室長は「張総理署理は新聞社CEOとして韓国の知識基盤社会と情報化を先導してきた」とし、「社長としての生き生きとした声を国政に反映させて、韓国経済を安定的に発展させることに大きく寄与してくれることと期待している」と語った。

第3共和国時代に空軍参謀総長を務めた張志良氏の子息である張総理署理は、米のニューヨーク大で国際経済学博士学位を取得し、毎日経済新聞社主であった鄭進基氏の婿となり、36歳の時の1988年から毎日経済新聞代表取締役社長を務めている。

／金民培記者

写真説明：

張署理、執務開始

張大煥新任国務総理署理が、9日に政府中央庁舎にて開かれた就任式で、国旗に向かい敬礼をしている。／蔡承雨記者

（朝鮮日報 2002年 8月 10日 第1面）

총리署理 장대환씨

내주 동의안 國會제출... 이달중 청문회

「한나라」"違憲논란 서리 재임명은 무책임"

【김대중(金大中) 대통령은 9일 새 총리서리에 장대환(張大煥·50) 매 일경제신문 사장을 지명했다. 전임 장 총리서리 지명자는 장상(張尙) 총리 임명동의안이 7월 31일 국회에서 부결된 이후 9일 만에 지명된 것으로, 장 총리서리는 이날 김 대통령령으로부터 임명장을 받은 뒤 공식 집무에 들어갔다. ▶ 관련기사 3면

정. 내주 조 장 총리서리 인준 동의안을 국회에 제출할 예정이며, 국회는 이달 중 인사청문특위에서 청문회를 실시한 뒤 본회의에서 무기명투표를 실시, 국회 인준 여부를 가린다. 장 총리서리에 대한 인준동의의 여부는 139석으로 원내 과반의석을 차지한 한나라당의 선택과 청문회 결과가 결정적 변수로 작용할 전망이다.

한나라당 남경필(南景弼) 대변인은 "야당은 물론 언론과 학자, 많은 국민이 총리 서리 제도의 위헌성을 지적했음에도 김 대통령이 다시 서리를 임명한 것은 오만함에서 비롯된 것이며, 너무나 무책임한 결정"이라며 "우리는 서리라는 용어를 쓰지(1 내정자라 쓰겠다"고 말했다.

장 총리서리는 역대 총리, 총리서리, 내각수반 45명 중 최연소 8번째이며, 이 때문에 정부 내에서는 평균 나이 59세가 넘는 내각의 통할문체 각 장 총리서리의 중요 과제로 대두할 것이라는 지적이 나오고 있다. 정 총리로는 4대 박두진(朴斗鎭·52년 4월)이 1대 김종필(金鍾泌·71년 4월) 9대 정일권(丁一權·54년 4월) 9대 이범석(李範奭·48년 4월) 등 4명이 40대에 총리를 지냈다. 박지원(朴智元) 청와대 비서실장

은 "장 총리서리는 신문사 CEO로서 한국의 지식기반 사회와 정보화를 선도해 왔다"면서 "시장의 생생한 목소리를 국정에 반영시켜 한국 경제를 안정적으로 발전시키는 데 큰 기여가 있을 것으로 기대한다"고 평했다.

3공화국 시절 공군참모총장을 지낸 장지량(張志良)씨의 아들인 신임 장 총리서리는 미 뉴욕대에서 국제경영학 박사학위를 받았으며, 매일경제신문 사주였던 고 정진기(鄭進基)씨의 사위로서 36세인 1988년부터 매일경제신문 대표이사 사장으로 근무해왔다.

/송민배기자 baiba@chosun.com



◇張서리 집무시작

장대환 신임 국무총리서리가 9일 정부중앙청사에서 열린 취임식에서 국기에 대해 경례했다.

/鄭承雨기자 rainman@chosun.com

2002. 8. 15 毎日(夕)

「『正確な歴史に基づく教育を』」
 国連人権小委員会決議
 シュネーフで開かれた
 国連人権小委員会
 は14日、戦争中の組織
 的レイプや性的奴隷制度
 などの問題について、各
 国に人権教育の促進を求
 める決議を採択した。決
 議に拘束力はないが、性
 的奴隷制度に関する決議
 は93年以来、毎年採択さ
 れている。
 決議では直接言及して
 いないが、「性的奴隷制
 度」は第二次大戦時の日
 本の従軍慰安婦制度を念
 頭に置いたもの。当初の
 決議案では、「教科書の
 正確さに注意を払う」と
 日本の教科書の記述に注
 文をつける文句があった
 が、代わりに「国連の事件
 の説明の正確さを確保す
 る」に改定された。

2002. 8. 15 東京(夕)

「『正確な歴史に基づく教育を』」
 国連人権小委員会決議
 シュネーフで開かれ
 ている国連人権小委員会
 は14日、第二次大戦中
 の旧日本軍による従軍慰
 安婦問題などを念頭に置
 いた「組織的なレイプと
 性的な奴隷」の阻止に関
 する決議を全会一致で採
 択、加盟国が「正確な歴
 史」に基づく人権教育を
 促進するよう求めた。
 日本への名指しは避け
 つつも、従軍慰安婦や教
 科書問題で日本の対応を
 促す内容。決議は草案段
 階で「史実に関する教科
 書の正確さを期す」とし
 ていたが、一部委員の反
 対で教科書問題への具体
 的な言及が削除され、一
 般的な表現に変更され
 た。

元慰安婦らと会合

【マニラ19日】秦忠

弘「旧日本軍の慰安婦問題に取り組む参院の岡崎

トミ子（民主党）と田嶋陽子（社民党）の両議員は18日午後、マニラ首都圏のホテルでフィリピン

の元慰安婦や戦時性暴力被害者、遺族ら約80人と会合を開いた。
両議員は、日本政府の公式謝罪と元慰安婦に対する個人補償などを盛り込んだ民主、共産、社民の3党共同提案による「戦時性的強制被害者問題解決促進法案」（参院で継続審議中）の提案者。この日の会合では参加者から、法案の早期成立を望む声が相次いだ。

2002. 8. 19 朝日

2002.8.28

7/10

細菌戦の存在認定

731部隊訴訟 賠償請求は棄却

東京地裁判決

旧日本軍の731部隊（関東軍防疫給水部など）による細菌戦の被害に遭ったとして、中国人生存者と遺族180人が1人1000万円の国家賠償と謝罪を求めた訴訟で、東京地裁（菅田好二裁判長）は27日、原告の請求を

判決によると、731

部隊などは40、42年、中国南部の浙江、湖南省の各地でペスト菌に感染したノミを飛行機で空中散布したり、コレラ菌を

井戸水に入れるなどの細菌戦を展開し、8地域で感染を広げて多数の住民を殺傷した。国側は事実認定をしない

かったが、判決は「原告の陳述には説得力があり、事実存在したと考えられる」と判断し、原告側の被害証言などをほぼ追認した。賠償請求については「国際法上、戦争被害について個人は国家に賠償を求められない」となどの理由を挙げ、認めなかった。

731部隊や細菌戦に関する公文書は、終戦間際に大半が焼却されたが、米国に引き渡された。このため日本政府は「資料がない」との理由で、公式には事実を認めていない。判決では、97年8月の第3次家永教科書訴訟最高裁判決で、731部隊の存在が初めて認定された。

原告側は不満 「事実関係がほぼすべて認められた意義は大きい」と、原告の主張は、使

い古された論理で退けられたい。戦争被害をめぐり、個人が国家に賠償を求めることはできない」とするハーグ条約の解釈が定着しているためだ。-3

一方、裁判所は731部隊元隊員ら原告側の証人申請の大半を認め、判決で「被害は悲惨かつ甚大だった」と指摘するなど、歴史的事実の認定には積極的だった。それだけに、事実認定をせず法

律論に終始した国側の姿勢を、原告側は「不誠実極まりない」と受け止めている。【清水健二】

2002.7.13

産報

男女共同参画

均衡とれた宇部市の条例

兵庫県宝塚市で、男女共同参画も盛り込んだ模範的な条例に近い。参画宣言都市の市長らによるシンポジウムが行われ、山口県宇部市の男女共同参画推進条例が注目を集めた。行き過ぎたジェンダーフリー教育に歯止めをかけ、伝統的な家族

る「専業主婦を否定することなく、現実家庭を支えている主婦を協力して支援する」としている。

近代法における男女平等の理念を正しくとらえた規定である。最近、男女差別廃止を強調するあまり、男と女の立ち居ふるまいの違いや合理的な男女の役割分担にまで目くじらを立てる風潮が、家庭や学校に浸透している。宇部市の条例は、その行き過ぎを正し、バランスをとっている。

同条例は「家族を構成する男女が、家庭尊重の精神に基づいた相互の努力と協力の下に、愛情豊かな子育て、家族の介護などを行う」とも求めている。男女がそれぞれ自立することと同様に、家族愛や家族の助け合いも大切なことをうたったものだ。

いづれも、条例制定前の審議会答申にはなく、市議会などの意見をもちに追加された規定だという。地域の字者にしてほしい。

や専門家の集まりである審議会の結論に安住せず、議会の見識が示されたケースとしても評価したい。

全国の各自治体では、平成十一年に施行された男女共同参画社会基本法や十二年暮れに閣議決定された男女共同参画基本計画などを受け、条例づくりが進められている。今月初め現在、すでに条例を制定した自治体は三十八都道府県、六十三市町村にのぼる。総じてジェンダーフリーの思想の影響を強く受けている。

国の男女共同基本計画でも、その思想に基づき「男女の固定的役割分担意識の是正」がことさら強調され、夫婦別姓制の導入を求めるなど、必ずしもバランスのとれた内容にはなっていない。これから条例を制定しようとする自治体は、国の基本法や基本計画だけでなく、宇部市のようなケースも参考にしてほしい。

2002. 7. 17 產科

精神面の相談5割

14歳から60代まで幅広く

性に関する悩み相談や
解脫などを提供する「HP
「Sally's 声」性」
(health.globe.ne.jp
/sallymain.html) が、
六月の開校から約二カ月
で二十万アクセスを突破
し大盛況だ。匿名で気軽
に利用できるネットの特
性を背景に、十四歳の女
性も中学生から六十代の男
性まで幅広い層が真剣な
性の悩みを寄せている。
コンテンツ企画会社の
NECインタラクティブ
(NEIC) が「正しい
性知識を届ける場を作ろ
う」と開設した。性の悩
み相談▽性の噂、俗説換
証▽性の最新情報」の三
「毎日」したくなるけど大
分の一を占めた。
NEICでは「性の低
年齢化が進み、若年層は
興味本位でいろいろな相
手と性交渉を持つため性
病関連の悩みが増える」
と分析している。

2002.7.13. 産経

男らしさ女らしさ・専業主婦を尊重

国や自治体の男女共同参画行政が「性差否定」「専業主婦軽視」と批判される中、山口県宇部市は全国で初めて男らしさ・女らしさや専業主婦を尊重する内容の男女共同参画推進条例を制定した。藤田忠夫市長は十二日、兵庫県宝塚市で開かれた「全国男女共同参画推進都市サミット」で条例の意義を発表した。宇部市の試みは各地の男女共同参画行政に影響を与えそうだ。内閣府によると、男女共同参画に関する条例は今月初め現在、三十六都道

宇部市の男女参画条例 伝統と家庭重視

府県、六十二市町村で制定されている。しかし「性差と男女差別を混同し、男らしさ・女らしさという日本人の伝統的な価値観を否定している」「女性の社会進出を強調する、働きイデオロギーを押しつけ、子育てなどで社会に貢献している専業主婦の役割を軽視している」といった批判の声が上がっていた。

宇部市の男女共同参画推進条例は先月二十八日に施行された。基本理念として「男らしさ女らしさを一方的に否定することなく男女の特性を認め合い互いにその人格と役割を認める」と、性差を認めた上で互いに助け合うことを定めている。また「家庭尊重の精神に基づいた相互の努力と協力」「愛情豊かな子育て」などに普及。「専業主婦を否定することなく、現実に家庭を支えている主婦を男女が互いに協力し、支援するよう配慮に努める」と、条文としては異例の「専業主婦」の文言を使って尊重を明記している。

宇部市は平成十年六月に中国地方で初めて男女共同参画都市宣言を決議した後、審議会を設けて条例を検討。今年一月に審議会から市長に提出された審議は他の自治体と大差ない内容だったが、市議会などで批判を受け、条例化の段階で大幅に変更した。

藤田市長はサミットで「男女共同参画推進というと、男らしさ女らしさを認めない」と受け取られがちなので、これを打ち消した。少子高齢化が進み、子供の虐待が行われるなど家族をめぐっては大変な状況にある。今こそ家庭について考え直すことが必要だと思

い、家庭尊重の精神を盛り込んだ」と、独自性を打ち出した理由を説明した。(2面に「主張」と条例抜粋)

2002.7.17. 産経

中国 女性の人身売買横行

中 農村部で 誘拐 貧困、性差別背景に

【北京16日＝福島＝】中国で農村部の女性や少女を誘拐し、香港や広東省の売春宿に売り飛ばす事件が社会問題となっている。四川瀘州市公安局は十六日までに少女ら約百人を誘拐し、香港に売っていた大型誘拐事件を摘発した。当局は誘拐組織や人身売買の摘発に力を入れている。

四川、福建、湖南、広東省の女性たちを香港で仕事がある誘い出し誘拐。監禁、暴行を繰り返す。香港の売春宿に売り飛ばすという残忍な手口が明らかになっている。精神に異常を来したり衰弱して死に至る女性も少なくない。女性たちは三千元（約四万五千元）から五千元（約七万円）で売られていた。誘拐された事件が後を絶たない背景には、中国農村地域の貧困と根強い女性蔑視、女性たちの意識の低さがある。安徽省など農村地区では、寡婦や貧しい女性が一日の食事のために村の男に一日だけ「嫁ぐ」習慣がある。

2002. 7. 23 J.T.

Plight of Pakistan women hits spotlight

MULTAN, Pakistan (AFP-Jiji) Widespread rape and "honor" killings of brides have been documented in a remote Pakistani region where a teenager was gang-raped on the orders of a tribal council, a human rights group said Monday.

At least 82 women were murdered and over 150 raped, most of them by more than one man, during the first six months of this year in Southern Punjab, the independent Human Rights Commission of Pakistan (HRCP) said after a study here.

Rashid Rehman, on an HRCP task force here, said although there had been at least 150 rapes, police entertained only 141 complaints and failed to arrest suspects in most cases.

The attention of local and international human rights groups, as well as law enforcement authorities was drawn to the region following last month's gang rape of an 18-year-old as punishment ordered by a tribal council.

The so called "honor" killings accounted for almost half of the 82 murders in the past six months in the districts of Multan, Deraghazikhan and Bahawalpur in southern Punjab, the HRCP said.

Women who allegedly bring "dishonor" to the family run the risk of getting killed by members of their own family.



FOUR MEN CHARGED in connection with the gang rape of 19-year-old Mukhtaran Mai look out from behind bars at a police station in Ali Pur near Multan last Tuesday. REUTERS PHOTO

Four of the women were killed by their own fathers, 15 were murdered by their brothers, 10 by husbands, two by sons and nine others by close relatives, the HRCP report showed.

Two women were killed because they failed to conceive while another was murdered because she refused to become a prostitute, the HRCP report said.

The HRCP in its annual report for 2001 said that a woman was raped every six hours in Punjab during the

year while a gang rape was committed every fourth day.

"Every second woman in the country suffered some form of violence," the commission said in its report.

Police records, which were presented to a provincial government inquiry into the June 22 rape-by-decree case of Mukhtaran Mai, 18, documented the rapes of 22 women by 53 men in the nearby Muzaffargarh district in June alone.

At least two of the raped women are now dead.

However, it is the gang rape of Mai ordered by the traditional tribal council that has most shamed this Islamic nation.

Her rape was ordered as punishment after the council found the teenager's 11-year-old brother guilty of "illicit" relations with a woman from a higher Mastoi tribe.

But the boy's family has accused the Mastoi tribe of concocting the "illicit" affair to cover up the sodomization of the 11-year-old by three Mastoi men.

2002.7.29 東京(夕)

ふるさとに贈る 「KIBOU」学校

在日25年のアフガン女性 支援呼び掛け

母国アフガニスタンの二十数年間の内戦を日本から見つめてきた茨城県つくば市の英会話教室「経緯スルタニ」(日本名・駿渡)・トロベカイさん(金)が、復興へと歩み始めた首都カブールに女性の自立と子どもたちの教育を支援する学校をつくろうと、ボランティアグループ「希望の学校」を結成した。「カブールの青空の下、子どもの歓声と女性たちのミシンの音が聞こえる、希望が持てる学校を」と支援を呼び掛けている。



「日本との交流への思いを込め学校は「KIBOU」(希望)と名付けました」と語るスルタニさん(茨城県つくば市)

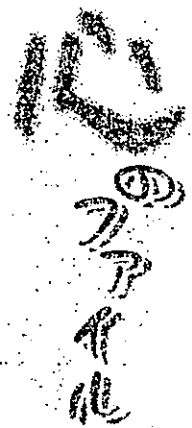
スルタニさんはカブール国タリバンの登場と北部ル大で英語教育を学び、同盟との戦いの激化な九七七年、体育教師の夫と、いつ果てるともしれない内戦が続いた。子どもと筑波大学で留学後すぐに帰国するつもりだったスルタニさんは、つくば市で夫と英会話教室を経営しながら、民族間の勢力争い、イスラム原理主義、望郷の日々を送った。親

族からの手紙やラジオで得た情報から荒廃している母国の様子を知らるたびに悲しみが募った。

特に、女性の行動を制限するタリバンのやり方はむづかしく、「言葉を忘れてしまふ」とつづられた姉の手紙を読んで、涙が止まらなかった。

状況を变えたのが昨年九月の米中核同時テロ。

「何が出来るだろう」。迷っていると長女が言った。「アフガニスタンの二百万円と高額の金が、始めなければ夢は実現しません。女性や子どもたち



が待っています」と決意に瞳を輝かせている。

(つくば通信部・飯田克志)

「希望の学校」への支援金振込先は、郵便口座

番号00120 8161565、口座名「希望の学校をアフガニスタ

ンに」。年会費は一般二千円、学生千円。問い合わせは事務局「電話090(1259)9907」

か、通訳会社「カルディオ」(平日のみ)「電話0298555656」へ。

人をお8人、原稿先「〒108新大塚1-10-1」(住所不要)「心」のファクスは03(3472)8147、電子メールはshakai@tokyo-np.co.jp

「希望の学校」への支援金振込先は、郵便口座番号00120 8161565、口座名「希望の学校をアフガニスタ

就学奪われた女性や

子供の自立サポート

2002. 7. 29. J. 7.

'MODERN DAY SLAVES'

More Asian kids working as servants

MANILA (AFP-Jiji) An increasing number of children are being employed as domestic servants in dire conditions across Asia amid rapid modernization and poverty, a study presented at a forum on child labor in the Philippines showed Sunday.

While it remains difficult to accurately assess the number of children working as "modern day slaves," studies showed that there are a high number of youngsters working in major cities and urban centers across the region.

Pre-Asian crisis figures said there were approximately 1.2 million child domestic workers in Bangladesh, 1 million in the Philippines, 1.5 million in Indonesia, 100,000 in Sri Lanka and 62,000 in Nepal.

Many of those were young females who are often abused, both sexually and physically, a study presented at the Manila forum on child domestic workers in Asia said.

"Asia is home to more than 60 percent of working children worldwide," the study said. "Child labor has increased. Abuses are more rampant and more hidden nowadays."

"The more scattered child laborers are increasingly more difficult to protect. And finally, they tend to sacrifice their education in the face of constricting incomes and op-

portunities."

It blamed poverty as the number one cause of child domestic work, with globalization exacerbating the phenomenon.

As the Asian middle class grew in recent years, the demand for "younger, more subservient household servants" also increased with once traditional housewives now seeking work outside their homes to help boost family incomes.

Less work in rural areas in the countryside due to the influx of cheap agriculture imports, and the sharp decline in prices of exported commodities, have also pressured "the younger members of families to search for work away from home to pitch in their cash remittances."

The survey said most parents had little choice but to let their children take on domestic work because it may guarantee regular employment, the study said.

But while some find homes where they are treated well as extensions of the family, most are forced into working 24 hours a day without holidays and are underpaid.

"Though a roof over the head is surely free, many child domestic workers reveal they were forced to eat leftovers, or compete for dog food, to drink liquid detergent mixed in juice or just swallow the emotional strain that goes

with the work," the study said. "Help from outside is difficult because they cannot go beyond closed doors. They are on their own."

2月28.1. 月日

児童ポルノ処罰法 11月に見直し

規制巡り論争再燃へ

対象は各国で様々

漫画やアニメ

児童ポルノの定義は、日本では「児童ポルノ」として厳格に定められている。しかし、海外では「児童ポルノ」の定義が異なり、漫画やアニメ、写真、ビデオなど、様々な媒体にわたって規制が行われている。また、規制の対象となる年齢も、国によって異なる。例えば、アメリカでは18歳未満の児童ポルノが規制の対象となるが、日本では18歳未満の児童ポルノが規制の対象となる。また、海外では「児童ポルノ」の定義が異なり、漫画やアニメ、写真、ビデオなど、様々な媒体にわたって規制が行われている。また、規制の対象となる年齢も、国によって異なる。例えば、アメリカでは18歳未満の児童ポルノが規制の対象となるが、日本では18歳未満の児童ポルノが規制の対象となる。

児童ポルノの定義は、日本では「児童ポルノ」として厳格に定められている。しかし、海外では「児童ポルノ」の定義が異なり、漫画やアニメ、写真、ビデオなど、様々な媒体にわたって規制が行われている。また、規制の対象となる年齢も、国によって異なる。例えば、アメリカでは18歳未満の児童ポルノが規制の対象となるが、日本では18歳未満の児童ポルノが規制の対象となる。また、海外では「児童ポルノ」の定義が異なり、漫画やアニメ、写真、ビデオなど、様々な媒体にわたって規制が行われている。また、規制の対象となる年齢も、国によって異なる。例えば、アメリカでは18歳未満の児童ポルノが規制の対象となるが、日本では18歳未満の児童ポルノが規制の対象となる。

児童ポルノの定義は、日本では「児童ポルノ」として厳格に定められている。しかし、海外では「児童ポルノ」の定義が異なり、漫画やアニメ、写真、ビデオなど、様々な媒体にわたって規制が行われている。また、規制の対象となる年齢も、国によって異なる。例えば、アメリカでは18歳未満の児童ポルノが規制の対象となるが、日本では18歳未満の児童ポルノが規制の対象となる。また、海外では「児童ポルノ」の定義が異なり、漫画やアニメ、写真、ビデオなど、様々な媒体にわたって規制が行われている。また、規制の対象となる年齢も、国によって異なる。例えば、アメリカでは18歳未満の児童ポルノが規制の対象となるが、日本では18歳未満の児童ポルノが規制の対象となる。



今年5月、ニューヨークで開かれた国際子ども権利総会で、「子どもの権利を守れ」と訴えて行進する子どもたち=AP

「表現の自由」侵害に懸念

絵と芸術性
この案は、日本児童士連合会（日児連）や日本児童士連合会（日児連）など、児童ポルノ規制に反対する団体から、表現の自由が侵害される懸念を指摘されている。また、海外では「児童ポルノ」の定義が異なり、漫画やアニメ、写真、ビデオなど、様々な媒体にわたって規制が行われている。また、規制の対象となる年齢も、国によって異なる。例えば、アメリカでは18歳未満の児童ポルノが規制の対象となるが、日本では18歳未満の児童ポルノが規制の対象となる。

児童ポルノの定義は、日本では「児童ポルノ」として厳格に定められている。しかし、海外では「児童ポルノ」の定義が異なり、漫画やアニメ、写真、ビデオなど、様々な媒体にわたって規制が行われている。また、規制の対象となる年齢も、国によって異なる。例えば、アメリカでは18歳未満の児童ポルノが規制の対象となるが、日本では18歳未満の児童ポルノが規制の対象となる。また、海外では「児童ポルノ」の定義が異なり、漫画やアニメ、写真、ビデオなど、様々な媒体にわたって規制が行われている。また、規制の対象となる年齢も、国によって異なる。例えば、アメリカでは18歳未満の児童ポルノが規制の対象となるが、日本では18歳未満の児童ポルノが規制の対象となる。

児童ポルノの定義は、日本では「児童ポルノ」として厳格に定められている。しかし、海外では「児童ポルノ」の定義が異なり、漫画やアニメ、写真、ビデオなど、様々な媒体にわたって規制が行われている。また、規制の対象となる年齢も、国によって異なる。例えば、アメリカでは18歳未満の児童ポルノが規制の対象となるが、日本では18歳未満の児童ポルノが規制の対象となる。また、海外では「児童ポルノ」の定義が異なり、漫画やアニメ、写真、ビデオなど、様々な媒体にわたって規制が行われている。また、規制の対象となる年齢も、国によって異なる。例えば、アメリカでは18歳未満の児童ポルノが規制の対象となるが、日本では18歳未満の児童ポルノが規制の対象となる。

児童ポルノの定義は、日本では「児童ポルノ」として厳格に定められている。しかし、海外では「児童ポルノ」の定義が異なり、漫画やアニメ、写真、ビデオなど、様々な媒体にわたって規制が行われている。また、規制の対象となる年齢も、国によって異なる。例えば、アメリカでは18歳未満の児童ポルノが規制の対象となるが、日本では18歳未満の児童ポルノが規制の対象となる。

市民団体が呼びかけ

痴漢被害や強制わいせつ、職場でのセクシュアルハラスメント（性的嫌がらせ）など性暴力の被害に遭い、精神的に不安定になった女性牧田中安心して過す「デイケアセンター」を作ろうと、市民団体がカウンスラーら協力と呼びかけている。このほど東京都内に開設場所が決まり、九月中のオープンを目指して、運営方法や受け入れ態勢を検討している。

■孤立する被害者

「デイケアセンター」の計画を進めているのは、女性からの労働相談などを行っている「女性三三三（東京）東京」東京代々木など複数の市民団体のメンバー。昨年スタート同三三三に設立委員会の事務局を置き、カウンスラーや弁護士、地方議員、研究者など八十

五人が賛言に賛同している。

開設場所として、都内のアパートの一室を借りられることになった。五十平方メートルの事務所内、現在、内装などの工事を進めている。

計画のきっかけは、セクハラ裁判の支援活動をしていた女性団体「ふみみん」（東京）メンバーの牧田真由美さんらが、原告女性が仕事を辞めざる

性暴力被害者に

デイケア施設を

せられるなどして孤立し、精神的に不安定になっていくのを身近に見たため。

牧田さんは「性暴力被害にあった女性の多くは、心に傷を負って精神的に参ってしまっている。ドメスティックバイオレンス（配偶者や恋人からの暴力）の被害者にはシェルターという避難場所があるが、性暴力の被害者は行き場がない。自宅にいても被害者意識が込みでしまい、ますます社会復帰が難しくなる。センターが、社会復帰の足がかりになれば」と話す。

センターの利用は女性だけの会費制にする予定。性暴力が原因で精神的な痛みを受け、医師の診察を受けている

ことが条件。利用者には通所してもらい、開設は田中たけのデイサービスにする。カウンセリングや就労支援のプログラムを行うが、ただいられるだけの場所にするか、運営方法については検討中で、広く意見を募っている。

賛同者の一人、弁護士角田由紀子さんは「性暴力の被害者は自分の体験を話すことも出来ずに孤立してしまっていることが多い。同じような体験をした女性が、安心してつづいていられる場所が必要」と話している。

■運営資金募集

現在、約八十万円の賛同金が寄せられているが、あと三百万円ほどの運営資金が必要。そのため、設立委員会では、運営が軌道に乗った後、返済の形での運営資金を募っている。問い合わせは同三三三の事務局（03・6960・6060）。



「デイケアセンター」を作ることが決まった部屋で、設計図を手に計画を話し合う設立委員会のメンバー（東京都内）

都内に来月「くつろげる場所に」

2002.8.1. 読売

2002.8.7 産経

中学生対象に配布の性教育冊子



絶版になることが決まった中学生向けの性教育冊子「思春期のためのラブ&ボディBOOK」

中高生など十代の人工中絶増加に歯止めをかけるため、厚生労働省は六日、新しい性教育プログラムを開発し、全国の中学生に配布する方針を決めた。幼いころから男女の差を認識し、適切な行動を促す「ラブ&ボディBOOK」(仮称)と名づけた教科書に呼びかけ、教育現場での導入をめざす。同省は少子化対策の柱の一つとして平成十五年度予算の概算要求に盛り込む。

新しい性教育プログラム開発

中絶増加歯止め 少子化対策の柱

避妊をしていない女子は約八割、男子は約五割に上った。また、同省の性教育調査では、平成十二年の十代の中絶数は千人あたり二・一人で、十年前(六・六人)の約二・五倍に急増している。米国の研究報告では、人工中絶した女性の5%前後が、手術の際の不注意で不妊症になるというデータもあり、厚生労働省は、避妊の妊

■厚労省方針

娘や人工中絶を減らすためには、教育が重要と判断した。具体的には、男女の性差について知識を持ち、適切な行動を促す教育プログラムを開発し、全国の中学生に配布する方針を決めた。同省は、少子化対策の柱の一つとして平成十五年度予算の概算要求に盛り込む。

在庫回収 厚労省、新教材作成へ

性に対する偏見や差別意識などをめぐる論争が起きていた中学生向けの性教育冊子「思春期のためのラブ&ボディBOOK」について、冊子を作成した厚生労働省の財団法人「母子衛生研究会」は六日、冊子を絶版にし、教育現場などに残っている在庫冊子を回収する方針を決めた。厚生労働省では、「全生徒を対象とするにはふさわしくない記述もあった」と話している。

「思春期のためのラブ&ボディBOOK」は、同財団が、全国の中学生を対象に配布している性教育冊子。冊子の中では、「キスや性交(セックス)にも興味をわいてくる年代だ」とし、避妊方法について「コンドームは失敗率1%」などと説明。また、「(ピルは)世界中で広く使われている薬だ」とし、「赤ちゃんを飲む薬は避妊効果は抜群。産婦人科のお医者さんと相談して使おう」とも説明している。また、「(ピルは)世界中で広く使われている薬だ」とし、「赤ちゃんを飲む薬は避妊効果は抜群。産婦人科のお医者さんと相談して使おう」とも説明している。

波紋広がり「絶版にします」

「思春期のためのラブ&ボディBOOK」は、同財団が、全国の中学生を対象に配布している性教育冊子。冊子の中では、「キスや性交(セックス)にも興味をわいてくる年代だ」とし、避妊方法について「コンドームは失敗率1%」などと説明。また、「(ピルは)世界中で広く使われている薬だ」とし、「赤ちゃんを飲む薬は避妊効果は抜群。産婦人科のお医者さんと相談して使おう」とも説明している。また、「(ピルは)世界中で広く使われている薬だ」とし、「赤ちゃんを飲む薬は避妊効果は抜群。産婦人科のお医者さんと相談して使おう」とも説明している。

2002. 8. 13. 東京

「生まれ変わっても女」

日本71.5%

「生まれ変わっても女」と考える女性は、日本で71.5%、韓国では57.3%。フジテレビは韓国のMBC（韓国文化放送）と共同で「韓国女性の意識を調査し、結果を紹介しながら、両国の女性の生き方を見つめるドキュメンタリー」を制作した。十五日午後二時八分から放送する。

◆生まれ変わるなら？ 韓国46.6%と、ともに両国とも「女」が高い位。韓国では「能力を疑うが、日本では「何かにつけて、キャリアアップさせて責任が軽くなる」とも44.2%と高い。「男は大変そう」などの、日本では23.1%。

フジがMBCと共同で意識調査

楽しみを大切に

調査結果からは、韓国はキャリア志向が強く、日本では、社会のプレッシャーの中で働くよりも自己実現、自分の楽しみを大切にしている女性像が浮かぶ。

寺中桂子プロデューサーは「一種のスタンダードをうち破る」としている韓国に対し、日本では、質問に対し「分からない」と答える人も多く、価値観が多様化してあいまいなかで模索しているよう

ドキュメントを制作、15日放送

だ」記している。フジとMBCは業務提携を結んでおり、五年前から共同でドキュメンタリーを制作。意識調査は三年前から取り入れた。共同制作といっても、素材の一部やアンケートは共有するが、取材は独自の視点で行っている。

番組は、「黄女の人生、満足ですか？」と題し、アンケート結果に触れながら、韓国の女性起業家や働く女性たちの「帰宅拒否症候群」、六人の子供を育てる日本の専業主婦、失業中の夫に代わり家計を支えるシステムエンジニアなど、さまざまな女性の姿を伝える。

理由が自立。韓国では「男」の答えも四割を超え、「制的が少ない」「社会活動が有利」などが圧倒的。日本では「ス」の理由を挙げている。僑「ボート」「読書」「外間」的な価値観の枠にはめ込まれ、男女差別を感じているためとも見て取れる。

◆仕事への姿勢 調査は職業意識や家庭、結婚観など四十一の質問について尋ね、二十「仕事をする最大の理由」は、「生活費を稼ぐ」が日本64.3%、韓九人から回答を得た。

韓国57.3%

強いキャリア志向



6人の子供を育てる角田貴子さん＝フジ「黄女の人生、満足ですか？」から

2002.8.16 産経



従軍慰安婦問題などに
取り組む女性たちが15
日、東京・渋谷で反戦の
思いを込めて黒衣に身を
包んで行進するデモンス
トレーションを行った。非
写真。約20人の参加者が
黒衣の女性ら
反戦訴え行進
「慰安婦」制度とすべ
その戦争被害者に謝罪と
正当な補償を」と書かれ
た紙などを掲げ、繁華街
の数百年を歩いた。
黒衣の行進はイスラエ
ルで反戦を訴える女性ら
が始めたと言われる。

2002. 8. 18. J. T.

Domestic violence: the hidden epidemic

By CESAR CHELALA

Special to The Japan Times

NEW YORK — Gender violence, manifested essentially as violence against women — although it is generally unrecognized and underreported — is one of the most significant epidemics in the world today. That violence against women is considered normal behavior in many countries does not diminish its seriousness or its negative impact on the physical and mental health of women worldwide. Its persistence in many countries amid other obvious social measures of progress indicates the need to confront it with urgent and effective policies.



Domestic violence, violence that occurs in the home or within the family, is perhaps the most common kind of gender violence and affects women regardless of age, education or socioeconomic status. Although it is widespread, there are few precise figures of the extent of this phenomenon.

In every country where reliable studies have been conducted, statistics show that between 10 and 50 percent of the women studied report that they had been physically abused by an intimate partner during their lifetime.

According to a study carried out in the United States, violence against women is responsible for a large percentage of medical visits and for approximately one-third of emergency-room visits. Another study found that U.S. domestic violence is the most frequent cause of injury to women treated in emergency rooms — more common than motor vehicle accidents and robberies combined.

This situation has led public health experts to consider violence against women as a global public health issue, one that requires a public health approach in the policies aimed at its elimination.

Worldwide, violence against women is as frequent a cause of death and disability among women of reproductive age as

cancer, and a greater cause of ill health than traffic accidents and malaria together. In the U.S., 25 percent of female psychiatric patients who attempt suicide are victims of domestic violence, as are 85 percent of women in substance abuse programs. Studies in Pakistan, Australia and the U.S. show that women victims of domestic violence suffer more depression, anxiety and phobias than women who have not been abused.

Various factors (cultural, economic and social, as well as shame and fear of retaliation) contribute to women's reluctance to report these acts. Moreover, the legal and criminal system make this process difficult or complicated. Frequently, fear keeps women trapped in abusive relationships. It has been found that almost 80 percent of all serious injuries and deaths among women victims of violence occur when they try to leave a relationship, or after they have left.

The belief that men have a right to abuse women tends to perpetuate violent situations. In that sense, domestic violence exemplifies perverse power relationships in which violence is used by one person to control another. When these kind of relationships become established, people become conditioned to accept violence as a legitimate means of settling conflicts, both within the family and in society at large, thus perpetuating a vicious cycle. Violence begets violence, and often does irreparable damage to the family and to the social structure.

Although physical and sexual violence are easier to see, other forms of violence include emotional abuse, such as verbal humiliation, threats of physical aggression or abandonment, economic blackmail and forced confinement to the home. For many women, psychological abuse and humiliation are even more devastating than physical violence.

Sexual violence has harmful effects on women's health and well-being. Sexual violence increases women's risk of contracting sexually transmitted diseases, including AIDS, through forced sexual relations or because of the difficulty in

persuading men to use condoms. In addition, sexual violence increases the number of unplanned pregnancies and may lead to various gynecological problems such as chronic pelvic pain and painful intercourse.

A large proportion of women are beaten while they are pregnant. Comparative studies of battered and nonbattered pregnant women reveal that the former have twice the risk of miscarriage and four times the risk of having low-birth-weight babies. In India, a study of maternal deaths carried out in 400 village and seven hospitals showed that 16 percent of all deaths during pregnancy were due to domestic violence.

Some communities around the world are developing innovative strategies to deal with domestic violence. In India and Bangladesh, *salishe* — a traditional system of local justice — is used to address this problem. When a woman is beaten, the West Bengali nongovernment organization Shramajibee Mahila Samity sends a female organizer to the village to discuss the situation with the individuals and families involved and helps find a solution, which is then formalized in writing by a local committee.

Increasingly the health sector is being urged to consider domestic violence as a serious health problem and to research the causes, consequences and ways to prevent it. Although doctors and health personnel can greatly help the victims, in many cases they are not trained to diagnose abuse accurately. Such a multi-causal problem demands a multifaceted response, with the involvement of different sectors (legal, educational, labor, justice, criminal and public health) in the search for solutions.

For too long violence against women has remained a hidden epidemic. Now is the time to bring it out into the open and seriously deal with it.

Cesar Chelala, an international public health consultant, is the author of the Pan American Health Organization publication "Violence in the Americas: The Social Pandemic of the 20th Century."

2002. 8. 21. 産経

「ネスブルグ」の課題 環境開発サミット

南アフリカ・ヨハネスブルグで開かれる「持続可能な開発に関する世界首脳会議」(環境開発サミット)には、日本政府の代表団の助言役としてNGOの代表五人が参加する。環境や教育、女性、アフリカをテーマに活動するNGOにとっても、人口問題や保健の分野で途上国支援に取り組む「家族計画国際協力財団」(JOICFP)が、高橋さんが選ばれた。「持続可能な開発」をテーマとする「途上国に

援助を行っても、本当に必要とする地域にまでサード・ミレニアム開発目標の11項目を達成させるのは難しい。そのためには、やはり地道な草の根レベルの活動が重要だ。一九八〇年代前半から一九九〇年代後半にかけて、アフリカ諸国やアジア、南米の途上国で、人口、家族、保健計画の作成に携わった。「極貧状態にある途上国では、村民から強い信頼を得てい

NGOの役割広がる

家族計画国際協力財団国内事業部長 高橋秀行氏



くケースも多い」九〇年代前半のエチオピアでは、内戦で海外のNGOが次々に撤退、保健や衛生の重要性を理解した地元住民たちが活動を受け継いだ。「一時的に外部から多額の資金を投入することは『持続可能な開発』につながるが、投入するだけではますます重要な役割が増える。大事なのは、(安達重紀)

は地元住民が自立的な構造をつくるべく、かた」と強調する。今回のサミットでは政府、国際機関、NGOがパートナーシップを組んで進めるプロジェクトを明記する「約束文書」が採択される。「資金提供や調査活動、現場のノウハウなどそれぞれの団体が得意とする分野で協力し合うことが必要。世界は、いや応なしにパートナーシップの方向へ向かっている。九二年にブラジルをきっかけに、ル・リオで開かれた「地球サミット」から十年、NGOが果たすべき役割はますます重要さを増している。(安達重紀)

たかはし・ひでゆき 昭和26年、長野県出身。51歳。明治学院大経済学部を卒業後、北野建設サウジアラビア営業所などに勤務。54年から家族計画国際協力財団(JOICFP)で海外事業推進課、国際事業部プログラムオフィサーなどを経て平成7年から国内事業部長。同財団理事、国際協力NGOセンター理事も兼務。

国語に奇せる



の断想

昨年九月十一日、アメリカの世界貿易センタービルや国防総省に、連続した民間機が自爆突入し、多くの犠牲者を出した米中同時テロ事件の翌日、フジテレビで「米中同時テロ」の特集番組が放送された。その中で、世界は「一帯一帯」の戦争から、世界が一つの戦争に切り替わった、という現実が描かれた。戦争の現実化が、世界にどのような影響を及ぼしているのか、という問いが、この特集番組を通じて投げかけられた。

現実を書き換える言葉

今年四月一日に「改正国語辞書」が出版された。この辞書は、国語の規範を示すとともに、社会の変化を反映する役割を果たしている。特に、「女性」という言葉の定義が、従来の「男と区別される人」というものから、「男と区別される人」というものへと変化した。これは、社会の現実を反映しているだけでなく、現実を書き換える力を持っている。言葉は、現実を記述するだけでなく、現実を形作る力を持っている。この辞書の出版は、国語の規範を示すとともに、社会の変化を反映する役割を果たしている。

「看護師」というイデオロギー

「改正国語辞書」の「看護」という言葉の定義が、従来の「病者を世話する人」というものから、「病者を世話する人」というものへと変化した。これは、社会の現実を反映しているだけでなく、現実を書き換える力を持っている。言葉は、現実を記述するだけでなく、現実を形作る力を持っている。この辞書の出版は、国語の規範を示すとともに、社会の変化を反映する役割を果たしている。

「看護」という言葉の定義が、従来の「病者を世話する人」というものから、「病者を世話する人」というものへと変化した。これは、社会の現実を反映しているだけでなく、現実を書き換える力を持っている。言葉は、現実を記述するだけでなく、現実を形作る力を持っている。この辞書の出版は、国語の規範を示すとともに、社会の変化を反映する役割を果たしている。

「看護」という言葉の定義が、従来の「病者を世話する人」というものから、「病者を世話する人」というものへと変化した。これは、社会の現実を反映しているだけでなく、現実を書き換える力を持っている。言葉は、現実を記述するだけでなく、現実を形作る力を持っている。この辞書の出版は、国語の規範を示すとともに、社会の変化を反映する役割を果たしている。

部 ニュースの速報・話題の解説 03(347)7242 / E-mail: takuhq@chunichi.co.jp

「戦時性的被害者問題」

野党の女性議員と台湾の立法院委員が十九日、国会で記者会見し、元日本軍慰安婦に補償を行うことなどを盛り込んだ「戦時性的強制被害者問題の解決の促進に関する法案」の早期成立を訴えた。

「国内生存者」40人足らず

同法案は、民主、共産、社民の三党が先の臨時国会で共同提案し、継続審議になっていた。村山富市元首相が一九九五年に創設した「女性のためのアジア平和国民基金」の「償い金」支給事業が、被害者の怒りを買ったとの反省からまとめられたもので、来週から本格審議に入る。

この日、記者会見した台湾の立法院委員、楊麗環さんは「ご存じのように、数十万人といわれる元日本軍慰安婦の多くは亡くなり、今では千人未満になってしまった。みんな体も心も痛めている。わが国でも生きていけるのは四十人足らず。一刻も早く、日本は正式に謝罪し、生きている間に彼

女たちの名誉回復をしてもらいたい」と語った。

これに先立ち、来日した台湾の委員七人は衆参両院議長に会い、立法院の六割に当たる百三十六人の超党派委員の署名が入った法案の早期成立を求める要請書を提出した。

「戦時性的強制被害者問題の解決の促進に関する法案」をまとめたのは、民主党の岡崎トミ子氏、共産党の八田ひろ子氏、社民党の田嶋陽子氏ら野党三党七人の女性議員。

法案は「慰安婦という言葉は、被害者が受けた被害の実態を反映していない」として「慰安婦」を「戦時性的強制被害者」と規定する。日本政府による公式謝罪と、名誉回復に資するために必要な金銭の支給を行うこととしている。このほか、内閣府に調査推進委員会を置き、実態調査を行うことも盛り込んでいる。

岡崎氏は「やはり国家による正式な謝罪とそれに伴う補償が必要」として、次

のように語る。

「国家補償回避」怒り、反発強く

「慰安婦問題が世に出てから十二年。その間、村山元首相がおわびをし、河野洋平元官房長官が軍の関与を認めた。ところが、ドイツなどどの国も国家が謝罪し補償しているにもかかわらず

政府は「解決済み」 今国会は困難

「戦争は国がやったこと」
「慰安婦問題は九八年四月、基金の「償い金」受け取り拒否を表明し、その代わりに韓国政府が一人当たり約三百萬円の支援金を支給することにした。台湾も同様の措置を取ったため、償い金の受給者は低迷していた。

「女性のためのアジア平和国民基金」は村山政権の下、「国家賠償は解決済み」とする日本政府に代わって民間基金を基本に発足。韓国の元慰安婦に対し

元日本軍慰安婦への正式な謝罪などを盛り込んだ法案の早期成立を訴える民主党の岡崎トミ子参議院議員(中央)と台湾の立法院委員ら

では、償い金二百萬円に府資金による一人あたりの百萬元規模の医療福祉などの被害者から「日本政府による国家賠償を回避するもの」として反発が強く、怒りがものすごいということが分かったのです。

しかし、自民、公明、与党は政府と同様、「解決済み」との立場をとっており、今国会での成立は難しい。

基金事業とん挫… 「国家による謝罪を」

野党の女性議員
台湾の立法院委員
解決へ法案成立訴え



21世紀の視点

アジア女性基金が設立以来七年目で、韓国、フィリピン、台湾での償い事業を終える。この機会に、基金の理念、基金がやったこと、できなかったことを記しておきたい。

基金は、「慰安婦」問題について道義的責任を認めた日本が、その責任を具体的な形で果たすため、一九九五年七月、村山内閣の時に決ったものである。赤松良子、大瀧淑子、下村満子、鶴見俊輔などの方々が呼びかけ、参院議長だった原文兵衛氏が理事長となって発足した。

村山内閣は、被害者、水俣病患者、アイヌなど、戦後五十年間放置された人々の問題解決を使命とした。基金の設立もそのひとつだった。

ただ、慰安婦問題の解決には多くの困難があった。第二次大戦と植民地支配で日本が諸国の国民に与えた害は、朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)を除き、平和条約や賠償協定などにより法的に解決されていた。他方、多くの元「慰安婦」は、支援団体が主張する法的な補償を求めた。

特別立法で元「慰安婦」について例外を認めようという動きもあったが、政府と自民党の中で抵抗が強く、見通しは立たなかった。裁判に訴えた被害者もいたが、保守的な日本の裁判所が日本政府の法的責任を認める可能性は低かった。

高齢の被害者に残された時間は限られている。百点満点でなくとも、せめて政府と国民の償いの気持ちを伝え、被害者の余生を精神的・物質的に支える一端となるべきではないか。現実には年老い、病気がちで医療福祉を必要とする元「慰安婦」がいる以上、実現可能性が低い法的補償だけにこだわるべきでない。法的な責任追及が実現すればそれは結構なことだが、最低限、道義的責任を認めた政府の具体的な措置と、償いを果たしたいという国民の心を実際に被害者に届けるべきだ。これが基金に

かかわった者の気持ちだった。

村山内閣は基金発足の際、(1)被害者一人一人に総理のお詫びの手紙を届け、(2)政府予算から医療福祉事業を実施し、(3)慰安婦問題を歴史の教訓とするため歴史資料を収集

再評価願う「市民の償い」

アジア女性基金の光と影



大沼 保昭

おおぬま・やすあき 東大教授(国際法)。女性のためのアジア平和国民基金(アジア女性基金)呼びかけ人・理事。『慰安婦問題とアジア女性基金』(共著)、『人権、国家、文明』など著書多数。

基金が個々の被害者と接してみると、そこには「国家補償でなければダメ」というマスコミの論調とは違う反応があった。むしろ彼女たちに不満はある。でも、償い金と医療福祉を受けることができるのはありがたい。総理からのお詫びの手紙は嬉しいかった。元「慰安婦」の中にはこういう気持ちを語る人たちがいた。日本の市民の中には、基金と政府を批判しながらも、被害者のために拠金してくれる人もいた。

フィリピンでは、支援団体が日本政府を批判しつつ、償いを受け取りたいという被害者の意思を尊重して、償い事業に協力した。韓国と台湾では厳しい論調は変わっていないが、償いを受け入れた被害者はかなりの数に上る。三つの国・地域で、人あたり三百二十万五千円相当の償い事業(現地の物価水準では数倍、数十倍の価値になる)を受けた方は二百八十五名、オランダで医療福祉を受けた方は七十九名に上る。

現存する被害者の中で、これが一部にとどまるのは確かである。たまた、十分な医療も受けられず、精神的にも辛い思いで生きてきた元「慰安婦」一人一人のことを思えば、四百に満たない方々にはあっても、償いの気持ちを届けることができたことは、何はともあれ、良かった。七年間の仕事にかかわって来た者の、複雑な、しかし正直な、気持ちである。

基金の理念は、公共的存在としての国民と市民が政府と共に過去の日本の償いを果たすというものだった。「官公、民私」という二分法が強く、NGOが反政府に流れやすかった日本や韓国では、この理念は少し早すぎたのかもしれない。基金が反発を受けた一因はそこにある。だが、この理念は、市民やNGOの公共的意識が高まる二十一世紀にこそ、再評価されてほしい。そこで「公」を担うのは、政府と市民なのだから。

-49-

2002. 7. 23. 朝日

参議院議員（民主党）

岡崎 トミ子

私の視点



「従軍慰安婦」問題の解決をめざす民主、共産、社民各党共同提出の「戦時性的強制被害者問題解決促進法案」が23日、初めて国会でこの問題が取り上げられてから12年。法案提出からでも1年以上がたつ。旧日本軍により、アジア各地で兵士たちとの性的関係を繰り返して強制的にされた女性たちは8万〜20万人とされる。当時未成年で、

opinion © news project

失意のため命を失ったり健康を害したりした被害者も多い。心身の痛みと周囲の無理解、偏見に苦しむ彼女らが今求めるのは、政府の公式な謝罪と名誉回復の措置としての個人補償だ。

だが政府は「戦後補償はサンフランシスコ平和条約と2国間条約で解決済み」と

民間団体「女性のためのアジア平和国民基金」創設と被害者への「償い金」（見舞金）支給だ。募金を寄せた国民の気持ちは大切だろう。しかし、多くの被害者や被害者が納得せず、心からの謝罪の気持ちとしては伝わっていないのだ。

民衆の怒りも伝えられた。今回の法案は国の責任で公式に謝罪し、名誉回復措置としての金銭支給を実現しようとするものだ。98年の山口地裁下関支部判決で告発された「立法不作為」の責任を遂ましながら果たそうとするものでもある。

知られていなかった点を考へても、これは当たり前前の措置ではないか。日本ではこの問題がまだ十分な関心を集めているとは言えない。現状はあるが、世界のまなざしは年々厳しく、そして厳しくなっている。先にインドネシアの調査に訪れた際、同国のルハデ

◆従軍慰安婦 個人補償立法で解決図れ

とし、彼女たちの声にこたえようとはしない。今年3月、参議院内閣委員会での私の質問に対し福田官房長官は「従軍慰安婦問題は非人道的行為。国民一人一人が胸に刻むべきだ」と答弁したが、政府の立場は何ら変わっていない。

その「日本政府の直接謝罪と個人補償がない限り名誉回復はない」とする反発が相次いだ。そうした抗議活動が今年5月の「償い金」申請受け付け終了時まで続いた事実を重く受け止めるべきだ。「両国の関係のためには基金の事業の中止が望ましい」とする韓国の閣

ら向き合う姿勢がうかがわれる。昨春の提出後、一度も審議されないまま廃案となり、秋の臨時国会での再提出でも審議されずに継続審議になっていた。

しかし、政府が「解決済み」の根拠とする条約の締結時、日本軍の非道や彼女らのつらい体験はほとんど

イ社会省次官は「個人補償は時代の流れ」として法案を全面的に支持した。中園やフィリピン、オランダなどの被害者団体からも支持が寄せられている。先月のW杯で韓国側組織委員長を務めた鄭夢暉氏は、両国間で芽生えた一体感を過去の歴史に苦しむ人たちにも伝

り向け、もっと大きな運命感に、と訴える。国会で多数を占める与党の理解がない限り法案成立の見通しは厳しい。だが、「このままでは死にきれない」（在日の被害者宋神道さん）などと訴える彼女らの年齢を考えれば一日も早く正面から謝罪する日本の姿をみてもらいたい。苦難と闘いの人生の終わりに、少しでも報いたい。

投稿規定 1300字程度。住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒104-8001 朝日新聞社企画報道室「私の視点」係へ。電子メールはsen@ed.asahi.co.jp 二重投稿、探査の問い合わせはご遠慮下さい。本社電子メディアにも収録します。原稿は返却しません。

2002. 7. 29 東京

在朝日本人の視点で 横暴ぶりを淡々と

植民地朝鮮の日本人

高崎 宗司 著（岩波新書・七八〇円）

いつからか「平和ボケ」という言葉が、しきりに聞かれるようになった。これと並んで「かつての日本人は立派だった」式の言い方も、特に若い世代に向けて頻りになされている。はつきり言って「ソコウえー」である。私に言わせれば、「平和ボケ」のほうが「戦争ボケ」よりもずっとまじだ。他國を侵略して無辜の婦女子を殺したり、ほかの民族を屈伏させて奴隷扱いしたりしなかっただけでも、戦後半世紀余りの日本人の生き方のほうがはるかに「立派」ではないか。

日本と朝鮮の近現代史を専攻する著者は、私のような乱暴な物置いはいしない。日本が朝鮮をどのように植民地化していったか、そしてそこで何をしたかを、朝鮮に渡って住み着いた「在朝日本人」の視点という新しい角度から、有名無名の人々の記述を元に時系列で淡々と記したの



が、本書の概要である。だが、淡々とした記述は、厚みを増すにつれて、覆しがたい説得力を帯びてくる。たとえば、日本人の高利貸しが大勢いて、借金のかたに朝鮮人から土地を取り上げ、それを転がして土地成り金にのしあがっていったこと。当時の日本政府も「朝鮮は未開地」のイメージをふりまき、移民を積極的に送り込んだこと。また、一般の日本人の朝鮮人に対する横暴には目に余るものがあると、高浜虚子らの知識人も憤慨しきりだったこと。在朝日本人は最盛期、いまの在日韓国人・朝鮮人の総数を上回る七十数万人に及んだ。

評者・野村 進（ノンフィクションライター）

日韓併合で日本は朝鮮に「よいこととした」という言説は、以前からあった。いわく、日本は鉄道や道路などのインフラを整備した。いわく、文盲の民に教育を普及した。と。それが最近では「よいことをした」とまで、すっかり増長している。本書を読めば、いかに手前勝手な屁理屈かわかるが、著者には次々と「たとえ徒勞に思えても、こつしたデマゴギーを逐一論駁してもらいたい」と、私は切に願う。

たかさき・そうじ 一九四四年生まれ。津田塾大学教授。著書に「『反目感情』」韓国・朝鮮人と日本人」「検証 日韓会談」など。

2002.8.2 読売(4面)

◆首相と元慰安婦償い金
事業へ寄付 小泉首相と隨
伴らは「白」元従軍慰安婦
への「償い金」事業を実施
している「女性のためのア
ジア平和国民基金」(アジ
ア女性基金)に327万円
を寄付した。

先月の16日から23日まで、日本国会の内閣委員会は日本の民主党・社民党・共産党が合議して国会に提出した『戦時性的強制被害者問題解決促進法案』という長い題目の『慰安婦』関連法案を審議した。

傍聴席には100名余りの日本の市民団体会員らが詰めかけ、日本に居住する日本軍『慰安婦』生存者である宋シンドハルモニも見守っていた。岡崎トミ子民主党議員が宋シンドハルモニの証言を読み上げるときには、内閣委員をはじめとして傍聴人の半分以上が目頭を押さえていた。私も日本政府の公式謝罪と法的賠償を最後まで求めながら亡くなった金学順ハルモニの姿が脳裏をかすり、熱い涙を禁じ得なかった。

これまで日本政府は日本軍『慰安婦』問題について、法的責任を負うことは出来ず、裁判で補償をしようにも該当する国内関連法がないという態度を一貫して堅持してきた。しかし、野中元官房長官が1999年9月の参議院決算委員会で『新しい法律を作り謝罪と賠償をしても憲法違反とはならず、全く問題はない』との見解を示し、去る3月20日の内閣委員会では、福田官房長官が『慰安婦』の罪は人道に反する罪であると答えて、国際的な人権感覚を持っていることを示したりもした。23日、同法案を審議する日には杉浦官房副長官(マ)も「女性のためのアジア平和国民基金(以下、『国民基金』)で終わったということではない」との答弁をし、これまで7年に渡った『国民基金』の限界を認め、新しい代案を模索しなければならない転換点に立っているという現実認識を20名余りの内閣委員と共有する席となった。

この法案は日本軍『慰安婦』問題を日本国家の責任のもとに公式謝罪し、被害者に対する名誉回復の証として賠償を実現するものである。日本の公式謝罪がない限り、被害者の名誉は回復されない。

そして、これにともなって法的賠償が可能なのである。韓国政府もこれに反対するはずがない。この法案審議の噂を聞いて、韓国の国会議員100名が歓迎の意を表し、中国の立法議員137名が、台湾の国会議員は132名が歓迎の意を伝えた。

1991年に205名が登録した我が国のハルモニは、今では137名に減少した。日本の国会はこの法案を継続審議し、迅速に通過させねばならない。これを通じて韓日間の歴史作りの土台を敷き、お互いの歴史の中に溜まっている恨みをひとつひとつ除去して行かねばならない。 / 金允玉 韓国挺身隊問題対策協議会 常任代表

(ハンギョレ新聞 2002年 8月 2日 与論欄)

지난달 16일부터 23일까지 일본국회 내각위원회는 일본의 민주당·사민당·공산당이 합의하여 국회에 제출한 '전시 성적 강제피해자 문제 해결 촉진 법안'이라는 긴 제목의 '위안부' 관련 법안을 심의했다.

방청석에는 100여명의 일본시민단체 회원들이 참여했으며, 일본에 거주하고 있는 일본군 '위안부' 생존자 송신도 할머니도 지켜보고 있었다. 오카자키 도미코 민주당 의원이 송신도 할머니의 증언을 읽어 내릴 때는 내각위원을 비롯한 방청인의 절반 이상이 눈시울을 적시고 있었다. 나도 일본 정부의 공식 사죄와 법적 배상을 끝까지 요구하다가 돌아가신 강학순 할머니, 아직도 수요시위를 하고 있는 할머니들의 모습이 뇌리를 스치며 뜨거운 눈물을 금할 수 없었다.

그동안 일본 정부는 일본군 '위안부' 문제에 대하여 법적 책임을 질 수 없으며, 재판에서는 보상을 하려 해도 해당되는 관련 국내법이 없다는 태도를 일관되게 견지해 왔다. 그러나 노니카 전 관방장관이 1999년 9월 참의원 결산 위원회에서 새로운 법률을 만들어서 사죄와 배상을 해도 헌법에 위반되지 않고 아무런 문제도 없다고 견해를 표했고, 지난 3월 20일 내각위원회에서는 후쿠다 관방장관이 '위안부'의 죄는 인도에 반하는 죄라고 대답해서 국제적인 인권감각을 가지고 있음을 나타내기도 하였다. 23일, 동 법안을 심의하는 날에는 스

기우라 부관방장관도 "여성을 위한 아시아평화국민기금(이하 '국민기금')으로 끝났다는 말은 아니다"라는 답변을 하여, 그동안 7년에 걸친 '국민기금'의 한계를 인정하고 새로운 대안을 모색해야 하는 전환점에 서 있다는 현실 인식을 20여명의 내각위원들이 함께 공유하는 자리가 되었다.

이 법안은 일본군 '위안부' 문제를 일본 국가의 책임 아래 공식 사죄하고, 피해자에 대한 명예회복 조치로서 배상을 실현하자는 것이다. 일본의 공식 사죄가 없는 한, 피해자들의 명예는 회복되지 않는다. 그리고 이에 따라 법적 배상이 가능한 것이다. 한국 정부도 이에 반대할 리 없다. 이 법안 심의 소식을 듣고 한국의 국회의원 110명이 환영의 뜻을 보냈고, 중국 입법위원은 137명이, 대만의 국회의원은 132명이 환영의 뜻을 보냈다.

1991년 205명이 등록을 했던 우리 할머니들은 지금은 137명으로 줄었다. 일본 국회는 이 법안을 계속 심의하여 조속히 통과시켜야 할 것이다. 이를 통해 한 일 간의 새 역사 만들기의 주춧돌을 놓고 서로의 역사 속에 쌓여 있는 앙금들을 하나 하나 없애나가야 할 것이다.



김윤옥/
한국정신대문제대책협의회
상임대표

朝臣

韓國挺身隊問題對策協議會常任代表



上ものが読者に読まれた。

た。宮城縣に住む被害者、

宋神道さんのつらい体験を
提案議題が紹介した時は半

数以上の参加者が目頭を押さえていた。日本政府の誠

獄ある則罪と神罰を最後ま
で求めていく。なつた金等順

さんや、驛国で閑寂を待つ
高齡で病氣がちのハルモ二

たちの姿が私の脳裏に何度
も浮かび、熱くこみ上げて

くるものをみ込んだ。

日本政府はこの慰安婦問題に關し、一貫して「日韓条約で解決済み」と主張し

されない。憲法上の問題も「ない」と明言し、今年3月20日の党内閣委員会で、福田康夫財務長官が「慰安婦の問題は非人道的行為」と語った。そしてこの日、

慰安婦」に日本国が公式に謝罪し、名譽回復措置としての金銭支給を立法措置で図るというものだ。決して私たちの要求を100%満たす内容ではないが、国境

典會と一女性國際法廷の
勸告を認める第一歩にもなる。
つまり、日本国による
公式の謝罪と補償がない限り、被害者の名譽は永久に
回復されないのである。

害者が「国民基金」によつて韓日の理解が深まつたのならともかく、カネの問題に矮小化されたことで、被害者は深く悩つた。

◆慰安婦問題 今こそ日本政府は決断を

の勝利は、素に日本の国会で初めて密議されることを知り、先般急ぎよ日本を訪れ、内閣委員会を傍聴した。W杯の陰に隠れ去った歴史の間隙が露呈去りにさらされていると想っていただけに、定数をはるかに超す一〇〇人以下をものぞき込んだ。

てきた。補償を行うにも該
当する国内法がないと謳う
のだ。だが、野中広務官房
長官が09年9月8日の参議
院決算委員会で「新たな立
法を含めどのような措置を
とるかは過去の条約に規定

つていない」と述べた。今
が次の集を請うべき転機中
にあることを日本政府も認
めているのである。

今回の法案は「元」従軍

の最高機関である立法院が、
歴代日本政府の避けてきた
附罪を法律で示すことに意
味がある。であればこそ、
韓国のみならず、アジアの
関係者も支持してきた。ま
た、これは、国連の人権委

金平順さんが日本国慰安婦だったと名乗り出て11年がたつ。最近の7年間は、日本政府による「女性のためのアジア平和国民基金」に妨げられて、日本国の責任による謝罪と補償の論議

加害国・日本への要求を明確にするため、韓国では国民的募金が行われ、政府は98年、この募金と合わせ約4千万ドル(当時約360万円)を被害者のハルモニたちに支給した。月々の生

活支援金支給などのサポートを福国社会が行ってきたのも、日本が加害国としてなすべきことを明確にしたかったからである。

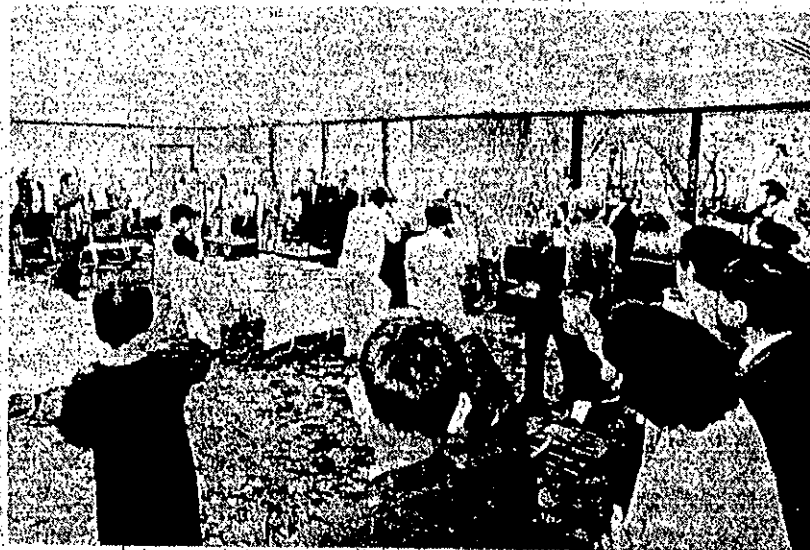
だが、もうした私たちの気持ちには、日本製「国民基金」に頭かじり続けられてきた。「基金」を受け取ったハルモニも、拒否したハルモニも、被害者をサポートしてきた私たちもすべてが深く傷ついた。「基金」は結局、韓国社会に平和ではなく、不和と恩蔭、不憫と分裂をもたらした。日本政府が被害者の名誉と尊敬

より、自らの「体面と榮耀」にこだわったためである。「女性のためのアジア平和国民基金」という「償い事業」がようやく終わつた今日、私たちに残された問題は、受けた傷跡をどう癒やし、回復するかだ。

名乗り出た205人のハルモニの3割以上はすでに死にし、137人を残すだけである。日本はW杯での共感と理解が本当であったことを見せてほしい。今こそ、勇氣ある決断を示してほしい。また謝罪をして償いを重ねないでほしい。

関係改善へ今後も努力

フルネイで開かれた朝、日外相会談を通じて局長級会談、赤十字会談の8月開催で合意。18、19日に赤十字会談が開かれ、来週には局長級会談が予定されている。その外相会談を目前にした7月29日、東京、千代田区の春日会館では日朝国交促進国民協会の創立2周年記念パーティーが行われ、村山富市会長（元首相）をはじめとする参加者は、日朝国交改善の再開、国交樹立の必要性を改めて強調した。また、三木隆子副会長（三木武夫元首相夫人）が6月に訪朝した際、朝鮮から親善勳章を授けられたことも披露された。



日朝国交正常化の早期実現を願い乾杯する参加者

日朝国交促進国民協会 創立2周年迎えるパーティー

研究会、訪朝団派遣
日朝国交促進国民協会の創立2周年記念パーティーが、北の首都平壤の出身者と6、15共同宣言採択が実現した半月後の2000年7月に創立された朝、日の国交樹立、国民世論を盛り上げることを目的とした民間団体で、政財界、学界、労働女性、宗教界など各階層の人たちが参加している。国交正常化を促すために、研究会の開催や訪朝団の派遣、政府に対する提言などを行ってきた。今年6月には、立教大学の李鍾元氏、韓国の高麗大学の徐東院氏をゲストに招いてシンポジウム「北朝鮮問題と日本」を開催したほか、和田春樹事務局長（東大名誉教授）を委員長とする第2次訪朝団を派遣した。

来ひんとあいつつした朝鮮総連中央の徐萬源議長は、協会のメンバーが朝、日両国民間の交流と国交正常化のため、多くの努力を傾けてきたことに敬意を表しながら、21世紀を迎えた現在に至っても朝、日関係が未解決の問題として取り残されている点を残念に思うと指摘。A.R.F.（アゼアン地域フォーラム）の場での朝、日外相会談開催について触れ、「会談が一つの契機になって、朝、日両国の隣国友好関係が一日も早く樹立されることを願う」と強調した。

所期の目的達成を

村山富市会長（元首相）



当協会が創立されたのは、2000年6月に歴史的な南北首脳会談が実現した半月後の7月3日だ。遅くとも2002年のワイルドカード開催までは、日朝国交樹立を実現したいとの意気込みで奮闘した。しかし、その後の事態の進展は必ずしもいい状況ではない。プッシュ・ミ大統領「拉致問題」など、マスコミにあらわれる形で悲観的な材料が並び、所期の目的は達成できていない。

だが、ここへ来て、A.R.F.で日朝外相会談開催の運びとなり、また南北開級会談も日程にのぼるなど、動きが出てきている。

この機会になんとか国交正常化を果たし、東北アジアの平和と安定をもたらすうえで日本が主体的役割を果たさねばならないと考える。困難や障害があっても、所期の目的を達成できるように努めていきたい。

東北アの平和・安定のため

「大塚康宏・民主党衆院議員」、「愛国」としての当然の友好、植民地支配謝罪に向けて世論を高めていきたい」（穀田恵二・共産党衆院議員）などと、それぞれが日朝関係改善に今後取り組んでいく意思を表明していた。

21世紀の視点

「慰安婦」であったと最初に韓国
の金学順さんが名乗り出てこの八月
十四日で満十一年が経過した。しか
し、今なお被害者側から日本政府に
対して公式謝罪と補償を求める声が
続いている。金学順さんは「女性の
ためのアジア平和国民基金」を最後
まで拒否して日本政府の公式謝罪と
補償を求める書簡を橋本首相(当時)
に送ったが、黙殺されたまま九七年
十二月になくなった。すでに名乗り
出た被害者の三割以上が亡くなった
が、日本政府は被害者の納得できる
対応を欠いたまま戦後の五分の一を
やりすごした。被害者たちからは日
本は私たちが死ななければすべて終わると
思っている(金順徳)との悲痛な
声が上がって久しい。

七月二十日に「女性のためのアジ
ア平和国民基金」が七年間の「償い
事業」の終了を各紙を通じて告示し
た。翌日の本欄で大沼保昭氏は「再
評価願う『市民の償い』」と題する
文を寄せ「三つの国・地域で償い事
業を受けた方は二百八十五名……
償いの気持ちをお届けできたこと
は、何はともあれ、良かった」と安
堵の気持ちを吐露している。

しかし「償われる側」の心情は「良
かった」というには程遠いものである。
「協力的」と大沼氏が評価する
フィリピンの被害者でさえ、「被害
者にとっての正義は、公式謝罪を伴
った国家補償を通してのみ実現され
る」(フリヤ・ボラス、小泉首相宛
書簡、〇二年五月)と九九年に「基
金」からパッケージで送られた小泉
首相の「お詫びの手紙」を最近小泉
首相に返送し、「死ぬ前に正義を実
現して欲しい」と訴えている。
ソウルの日本大使館前で毎週水曜日
に繰り広げられてきた「水曜デモ」
は先週五百二十二回目を数えた。「納
得いく解決を待つまで、百年かけて
も代を継ぎ日本政府を追及する」と
の言葉を繰り返すように若い世代の

参加が増え、この日も十数人のハル
モニを市民三百人が押込んだ。
「償う側」と「償われる側」の間
になさけこれほど大きなギャップが生
じたのか、この七年間で「日本政府
の防波堤」となって補償への道を閉ざ

姿の謝罪めう差意識

ら「慰安婦」元願回復尊厳



金 英姫

キム・ヨンヒ 在日韓国人2世。歯科医師。1952年大阪生まれ。
戦後補償実現市民基金運営委員。著書に『よくわかる韓国の「慰安
婦」問題』(編訳)、『慰安婦』への償いとは何か』(共著)など。

仕方ない。純粹の「民間基金」で
あれば被害者側が善悪を拒む理由
もなく、双方の懸け橋となりえた
であろう。

大沼氏は「現実には年若い、病気が
ちで医療福祉を必要とする元『慰安
婦』がいる以上、実現可能性が低い
法的補償だけにこだわるべきではな
い」。政府は「最低限、道義的責任
を認めた」とこの本質を現実可能
性というレベルで計り、問題解決の
本質ともいえる「国家の責任」をレ
トリックですりこかわした。だが、
被害者たちがなぜ「実現可能性の低
い」国家による補償にこだわり続け
るのか、その理由をこそ被害者の視
点から理解すべきではないか。

かつて「性の道義」として扱われ、
人間性を踏みにじられた被害者にと
って、第一に取り戻したいのは人間
としての尊厳である。日本政府の公
式な謝罪がない限り被害者の名義は
回復されないと考える。それゆえハ
ルモニたちへの物心両面の支援は私
たちがする。日本は加害国日本しか
できない公式謝罪と補償を実現して
欲しい」と韓国政府や行政、市民団
体はさまざまなケアを行ってきた。
問題を解く鍵は加害者の側にしかな
いからである。

かつて冷戦時代にワルシャワを訪
れたプラント西独首相がユダヤ人ゲ
ット跡の慰霊碑にひざまずき、う
なだれた。ひざまずくことは欧州で
は千年前からもっとも強い謝罪の表
現だといふ。この象徴的行為によっ
て、ユダヤ人被害者の尊厳は回復さ
れ同時にドイツ自身の尊厳回復の一
歩となった。その後、こうした行
為は重ねられてきている。レトリッ
クを超えて伝わるものがある。加害
者の側の許しを講ず姿勢と行為によ
って変わるのには被害者と加害者の関
係性である。それは対等なパートナー
として21世紀を共に生きていくた
めの礎となるのではないだろうか。